

大磯町教育施設等長寿命化計画

令和 3 年 6 月

大 磯 町

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 第1章 教育施設等長寿命化計画の背景・目的等 | 1 |
| 1-1 背景・目的 | |
| 1-2 計画の位置付け | |
| 1-3 計画期間 | |
| 1-4 対象施設 | |
| 第2章 教育施設等の目指すべき姿 | 3 |
| 2-1 教育施策の基本方向 | |
| 2-2 教育施設等の目指すべき姿 | |
| 第3章 教育施設等の実態 | 11 |
| 3-1 教育施設等を取り巻く状況 | |
| 3-1-1 人口 | |
| 3-1-2 財政 | |
| 3-1-3 施設配置の状況 | |
| 3-1-4 教育施設等の利用状況 | |
| 3-1-5 施設関連経費の推移 | |
| 3-1-6 教育施設等の保有量 | |
| 3-2 構造躯体の健全性の評価及び部位の劣化状況等の評価 | |
| 3-2-1 対象施設 | |
| 3-2-2 構造躯体の評価 | |
| 3-2-3 部位の評価 | |
| 第4章 教育施設等整備の基本的な方針等 | 33 |
| 4-1 教育施設等の整備方針 | |
| 4-2 改修等の基本的な方針 | |
| 4-2-1 長寿命化の方針 | |
| 4-2-2 長寿命化施設の選定 | |
| 4-2-3 試算条件の考え方 | |
| 4-2-4 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果 | |
| 第5章 長寿命化の実施計画 | 47 |
| 5-1 改修等の優先順位 | |
| 5-2 実施計画 | |
| 第6章 長寿命化計画の継続的運用方針 | 49 |
| 6-1 情報基盤の整備と活用 | |
| 6-2 推進体制 | |
| 6-3 フォローアップ | |

第1章 教育施設等長寿命化計画の背景・目的等

1-1 背景・目的

「大磯町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）（以下、「総合管理計画」という。）」において、本町が所有する学校教育施設、子育て支援施設及び社会教育施設（以下、「教育施設等」という。）は、公共施設全体の約半数と最も大きな割合を占めています。また、教育施設等の約3割は築40年を経過しており、今後、改修や改築の時期を迎えることとなりますが、今後の財政状況を踏まえると、従来の不具合が生じた後に対応する事後保全型の対策で費用を確保することは、難しい状況にあります。

そこで、本町では、このような背景を踏まえ、教育施設等を取り巻く状況や実態を把握し、教育施設等の安全性や行政サービスを維持するために、新たに「長寿命化」という予防保全型の改修・改築等の実施により、中長期的な維持管理等に係るライフサイクルコストの縮減、財政負担の軽減及び平準化等を図るため「大磯町教育施設等長寿命化計画（以下、「本計画」という。）」を策定しました。

1-2 計画の位置付け

本計画は、図1-1に示す「大磯町公共施設再編基本方針（平成28年5月）」、「大磯町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」及び「大磯町公共施設等第1期個別施設計画（平成30年3月）」という公共施設の関連計画に基づき、教育施設等に係る個別施設ごとの具体的な対応方針を示したものです。また、本計画は、国の「インフラ長寿命化計画」の行動計画に基づく実施計画に位置付けます。

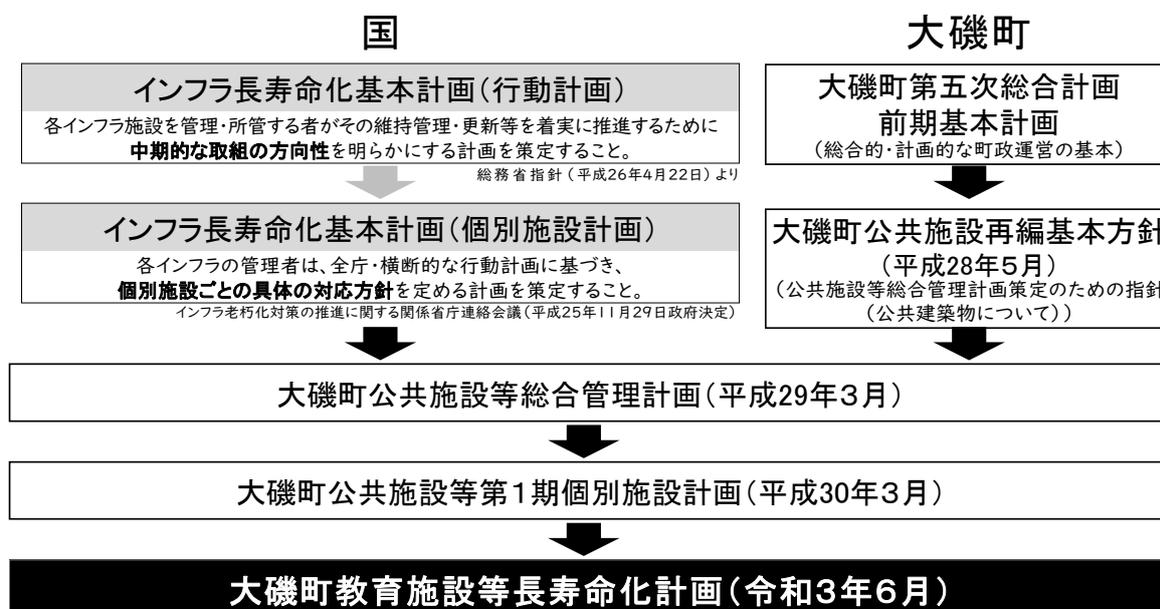


図1-1 教育施設等長寿命化計画の位置付け

1-3 計画期間

上位計画である総合管理計画では、2017（平成29）年度から2046（令和28）年度までの30年間とし、原則として10年ごとに改定するとしています。

これを踏まえ、本計画の計画期間は図1-2に示すとおり、2021（令和3）年度から2046（令和28）年度までの26年間とします。また、行動計画に基づく実施計画に位置付けていることから、5年ごとに改定を行います。

なお、教育施設等の状況、人口、財政及びまちづくり等の変化により、計画期間中に見直しが必要となった場合には、適宜見直しを行います。



図1-2 計画期間

1-4 対象施設

本計画における対象施設は、表1-1に示す12施設（40棟）です。

表1-1 対象施設

| 施設類型 | 施設名 | 所在地 | 建物数 |
|---------|-----------|--------------|-----|
| 学校教育施設 | 1 大磯小学校 | 大磯町東小磯3 | 8 |
| | 2 国府小学校 | 大磯町月京 18-1 | 7 |
| | 3 大磯中学校 | 大磯町東小磯 261 | 10 |
| | 4 国府中学校 | 大磯町月京 40-1 | 6 |
| | 5 大磯幼稚園 | 大磯町大磯 942 | 1 |
| | 6 たかとり幼稚園 | 大磯町生沢 402-1 | 2 |
| | 7 教育研究所 | 大磯町東小磯 424-2 | 1 |
| 子育て支援施設 | 8 国府保育園 | 大磯町生沢 438 | 1 |
| 社会教育施設 | 9 生涯学習館 | 大磯町高麗2-14-20 | 1 |
| | 10 郷土資料館 | 大磯町西小磯 446-1 | 1 |
| | 11 旧吉田茂邸 | 大磯町西小磯 418 | 1 |
| | 12 図書館 | 大磯町大磯 992 | 1 |
| 合計 | | | 40 |

参考：大磯町資料（令和2年度公立学校施設台帳ほか）

第2章 教育施設等の目指すべき姿

2-1 教育施策の基本方向

(1) 大磯町

本町では、長期的な展望のもと、目指すべき将来の姿とそれを実現するために必要となる施策の指針として、「大磯町第五次総合計画前期基本計画（令和3年3月）」を策定しています。まちの将来像である「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」の実現に向け、5つの視点から目標を定めて施策を展開しています。目標のひとつである「心豊かな人を育むまちづくり」では、図2-1に示すとおり、教育施設等に関する目標を示しています。

| | |
|--------------------------|--|
| 次世代を担う人づくりの推進 | <p>学校、家庭、地域が一体となって、次世代を担う子どもたちをみんなで育てます。子ども一人ひとりの教育ニーズに対応し、子どもたちが生きる力を身につけるよう、時代の変化に対応した特色ある教育内容や教育環境の充実を図り、人と人との関わりの中で、確かな学力・健やかな体・豊かな心を育む学校教育を推進します。</p> <p>また、地域の人たちとの様々な関わりの中で、青少年が自主的に参加できる社会参加活動や体験学習などを通じて、地域ぐるみで青少年の健全育成を図ります。</p> |
| つながりを育む生涯学習の推進 | <p>町民の一人ひとりが生涯にわたり、自由に学習機会を選択し、ともに学ぶことができるように、学習機会や学習情報提供の充実を図ります。</p> <p>また、町民主体の地域に根ざした文化・芸術活動が行われる環境づくり、学びを通じて地域に生かす心豊かな人づくり、人とのつながりを広げるまちづくりを推進します。</p> |
| 誰もが尊重される社会づくりの推進 | <p>町民一人ひとりが互いを認め合うとともに、人権意識を高め、性別、年齢、人種等に関わりなく、あらゆる分野で個性や能力が発揮できる、差別や偏見のない思いやりと多様性のあるまちをめざし、人権教育や啓発活動を推進します。</p> |
| 先人から引き継いだ文化の継承と活用 | <p>文化財や伝統文化など、先人から引き継いだ文化に愛着と誇りを持ち、次世代へ継承するとともに、様々なまちづくりの分野での活用を推進します。</p> <p>また、様々な文化活動を支援し、講座や学習機会の充実を図ることにより、本町の香り高い文化価値の再評価につなげます。</p> |

図2-1 心豊かな人を育むまちづくりの目標

出典：大磯町第五次総合計画前期基本計画（令和3年3月）

2012（平成24）年8月に「子ども・子育て支援関連3法」が制定され、2015（平成27）年4月から「子ども・子育て支援新制度」が施行されたことを受け、本町では、「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン（令和2年3月）」を策定しました。本プランでは、図2-2に示す「子どもたちの、未来をひらくまち、おおいそ」を基本理念に6つの基本目標を掲げて施策の方向を示しています。



図2-2 基本理念を実現するための基本目標と施策の方向

出典：第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おおいそ～（令和2年3月）

また、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の基本方針となる「大磯町教育大綱（平成30年11月）」では、図2-3に示すとおり、子育て、幼児教育、学校教育、生涯学習及び教育環境整備の視点から基本方針を示しています。

大磯町教育大綱

基本理念

「いのち」「こころ」

自らの可能性を求め、
新しい時代を心豊かに生きる人づくり

基本目標

～「いのち」と「こころ」を輝かせる3つの力をはぐくみます～

- ◇ 知力
自らの可能性を広げる基盤となる、知的好奇心をはぐくみます
- ◇ 体力
新しい時代をたくましく生きる原動力となる、心身の健康をはぐくみます
- ◇ 共感力
伝え合い、理解し合い、相手を思いやる心につながる、人や自然への優しさをはぐくみます

基本方針

～「大磯らしい」美しい自然と由緒ある歴史・文化を
大切にす教育をめざし、地域と連携し子どもたちをはぐくみます～

- (子育て)
安心して子どもを産み、地域全体が協働し、子どもが笑顔で成長できる環境づくり
- (幼児教育)
遊びを中心にさまざまな経験を通じて、家庭や地域ではぐくまれてきた「生きる力」の基礎を確立する幼児教育
- (学校教育)
人と人との関わりの中で、確かな学力・健やかな体・豊かな心をはぐくむ学校教育
保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりの実現
- (生涯学習)
生涯にわたって、ともに学び、自らを高め、更に学びを地域に活かす生涯学習
- (教育環境整備)
安全・安心・快適で、多様な体験・活動を行うことができる教育環境整備

図2-3 大磯町教育大綱の基本理念、基本目標及び基本方針

出典：大磯町教育大綱（平成30年11月）

本町では、生涯学習の振興を図るため、「大磯町第三次生涯学習推進計画（令和3年3月）」を策定しています。本計画は、社会教育、学校教育、家庭教育のほか、民間企業や生涯学習団体の自主的な教育活動を生涯学習の範囲としており、図2-4に示すとおり、ひとつづくり、つながりづくり、まちづくり及び学びの環境づくりの視点から施策を展開しています。

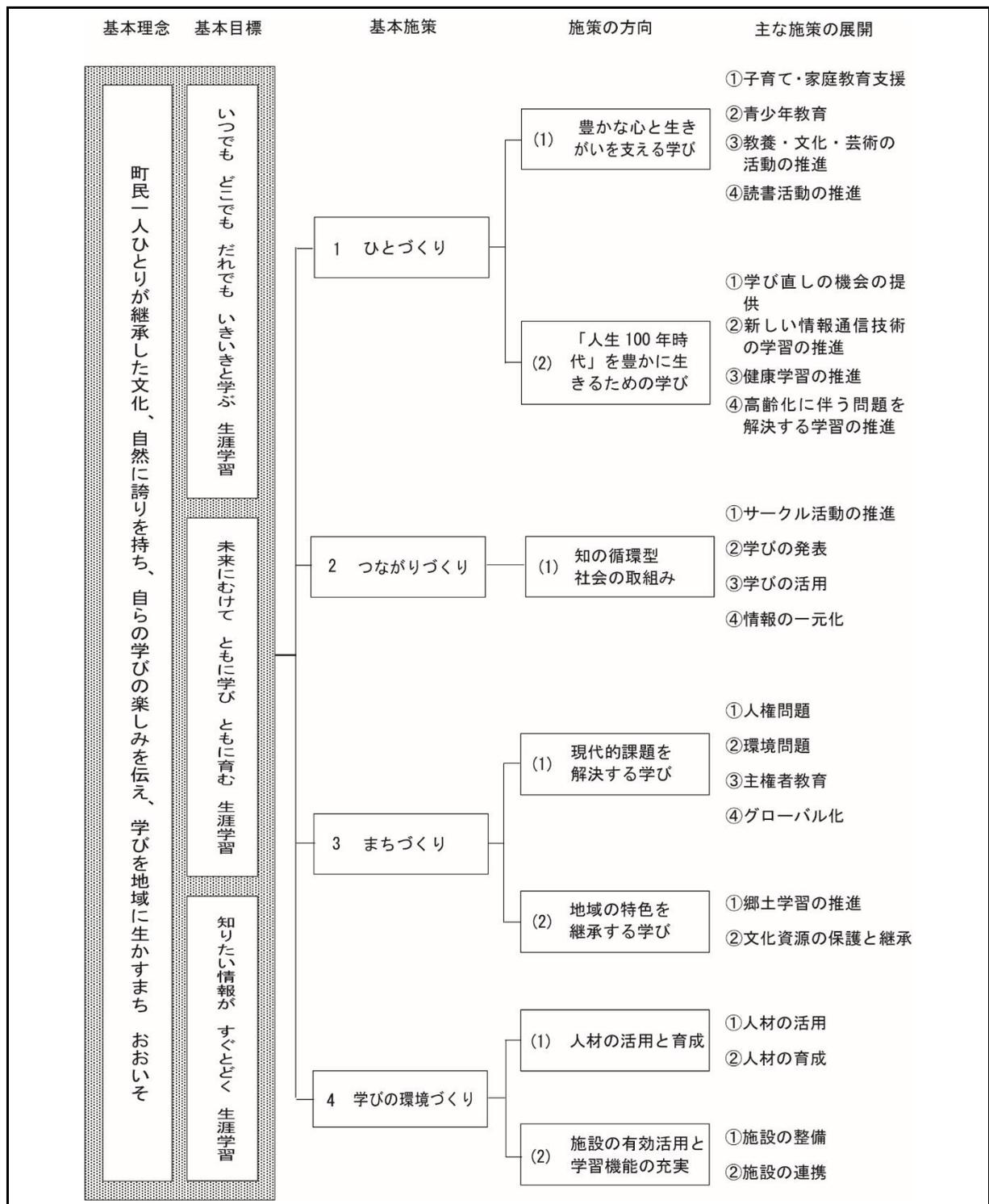


図2-4 生涯学習推進計画の施策体系

出典：大磯町第三次生涯学習推進計画（令和3年3月）

(2) 国

学校教育施設については、文部科学省において「学校施設整備基本構想の在り方について（平成 25 年 3 月）」を策定し、学校教育施設の評価に当たっては、表 2-1 に示すとおり、安全性・快適性・学習活動への適応性・環境への適応性・地域の拠点化の 5 分野から目指すべき姿を定める例を示しています。

また、その後の小・中学校教育要領や幼稚園教育要領の改訂、社会状況の変化等を踏まえ、これからの小・中学校施設や幼稚園施設の在り方について検討し、「幼稚園施設整備指針（平成 30 年 3 月）」「小学校施設整備指針（平成 31 年 3 月）」「中学校施設整備指針（平成 31 年 3 月）」を策定しています。幼児教育の場や児童・生徒の成長を支える場にふさわしい環境づくりを目指すため、表 2-2 の施設整備の基本的方針や充実すべき施設機能の視点を示しています。

表 2-1 学校施設の目指すべき姿の例

| | |
|---|--|
| <p>1. 安全性</p> <p>○災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震に強い学校施設 ・津波・洪水に強い学校施設 ・防災機能を備えた学校施設 <p>○防犯・事故対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校施設 | <p>3. 学習活動への適応性（続き）</p> <p>○理数教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した観察・実験を行うための環境 <p>○運動環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した運動ができる環境 <p>○伝統や文化に関する教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統や文化に関する教育を行うための環境 <p>○外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間 <p>○学校図書館の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 ・地域に開かれた学校とするための環境 ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設 <p>○キャリア教育・進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境 <p>○食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育のための空間 <p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに配慮した環境 ・自閉症、情緒障害又は ADHD 等のある児童生徒に配慮した学校施設 <p>○環境教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール |
| <p>2. 快適性</p> <p>○快適な学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習能率の向上に資する快適な学習環境 ・児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校 ・バリアフリーに配慮した環境 ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間 <p>○教職員に配慮した環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に配慮した空間 ・教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要な ICT 環境 | <p>4. 環境への適応性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を考慮した学校施設（エコスクール） |
| <p>3. 学習活動への適応性</p> <p>○主体性を養う空間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間 ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間 ・社会性を身に付けるための空間 <p>○効果的・効率的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間 ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 ・各教科等の授業を充実させるための環境 <p>○言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間 ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 | <p>5. 地域の拠点化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校施設 ・バリアフリーに配慮した環境 ・地域に開かれた学校とするための環境 ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設 |

出典：学校施設整備基本構想の在り方について（平成 25 年 3 月）

表2-2 施設整備の基本的方針と充実すべき施設機能の視点

| | | |
|---------|--------------|---|
| 小学校・中学校 | 基本的方針 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備 2. 健康的かつ安全で豊かな施設環境の確保 3. 地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備 |
| | 充実すべき施設機能の視点 | <ol style="list-style-type: none"> ① 新学習指導要領への対応 ② ICT を活用できる施設整備 ③ インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組 ④ 教職員の働く場としての機能向上 ⑤ 地域との連携・協働の促進 ⑥ 学校施設の機能向上 ⑦ 変化に対応できる施設整備 |
| 幼稚園 | 基本的方針 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然や人、ものとの触れ合いの中で遊びを通した柔軟な指導が展開できる環境の整備 2. 健康で安全に過ごせる豊かな施設環境の確保 3. 地域との連携や周辺環境との調和に配慮した施設の整備 |
| | 充実すべき施設機能の視点 | <ol style="list-style-type: none"> ① 幼児教育の場にふさわしい豊かな環境づくり ② 幼児教育の担い手を支え、家庭や地域と連携・協働を促す環境づくり ③ その他施設の配慮 |

参考：文部科学省「これからの幼稚園施設の在り方について（平成 30 年 3 月）」
 文部科学省「これからの小・中学校施設の在り方について（平成 31 年 3 月）」

2-2 教育施設等の目指すべき姿

教育施設等の目指すべき姿は、今後の施設整備の取組において、実現すべき目標像となります。特に、学校教育施設については、「2-1 教育施策の基本方向」に示す国や本町における基本方向を踏まえ、安全性・快適性・学習活動への適応性・環境への適応性・地域の拠点化の5分野から表2-3に示す目指すべき姿を定めました。

なお、その他の教育施設等についても、学校教育施設と同様に5分野の視点から施設の充実を図ることを基本とします。

表2-3 学校教育施設を目指すべき姿(1/2)

| | |
|------------|---|
| <p>安全性</p> | <p>○災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地震や津波等に対する防災対策の一層の強化に努めます。 • 学校施設の耐震補強は実施済みですが、老朽化が進む施設において、児童・生徒が安心して学べる環境整備に努めます。 • 学校施設は災害時に指定避難所として指定されており、地域の防災拠点としての役割を担っていることから、大規模災害に備え、防災担当部署と連携しながら、防災機能の強化を図ります。 <p>○防犯・事故対策</p> <ul style="list-style-type: none"> • 防犯・安全体制の一層の強化に努めます。 • 児童・生徒が安全・安心に施設の利用ができるようにするため、今後の児童・生徒数や将来の財政状況を見据え、計画的に施設設備の点検・修繕等を行います。 <p>○感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス等の感染症拡大防止対策に努めた教育を実施します。 • 施設利用者に対する三つの密の回避、手洗いの励行等を推進します。 |
| <p>快適性</p> | <p>○快適な学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学習能率の向上に資する快適な学習環境を整備するため、空調設備の整備を引き続き進めます。 • ユニバーサルデザインの視点を持ち、トイレの洋式化やバリアフリーに配慮した環境整備を進め、地域の方々も含め学校施設を利用する全ての人が利用しやすい環境づくりを目指します。 <p>○教職員に配慮した環境</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「教職員の心身の健康やワーク・ライフ・バランスにつなげる」、「仕事効率の向上により、教職員が子どもと向き合う時間を確保する」、「職員の働きやすい職場環境の実現を推進する」という趣旨と目的のもと、引き続き、働き方改革に取り組みます。 |

表2-3 学校教育施設の目指すべき姿(2/2)

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学習活動への 適応性</p> | <p>○効果的・効率的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小学校の少人数学級の拡充に向けて 35 人以下学級編制を実施します。 • きめ細かい個に応じた指導を行うため、ティームティーチングや少人数指導を実施します。 • 学習効果を高めるための ICT 関連機器の活用を図ります。 • 県のインクルーシブ教育の方針を踏まえ、町として障害のあるなしにかかわらず、全ての子どもが共に学びあう教育を推進し、互いを理解しながら、社会性や思いやりのこころを育みます。 <p>○主体性を養う空間の充実、言語活動の充実、学校図書館の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童・生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う環境を提供します。 • 子どもたちがより一層読書に親しむ機会と推奨すべき図書の提供に向け、学校図書館の機能を活用します。 • 英語指導助手等の活用、教科担任制の導入を図り、外国語教育の充実に努めます。 <p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特別支援を必要とする児童・生徒に配慮した施設整備を図ります。 • バリアフリーに配慮した環境整備を図ります。 <p>○運動環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童・生徒の体力向上について、日常における「外遊び」の推奨や、各学校の取り組み状況を検証し、引き続き特色ある取り組みを推進します。 <p>○食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 栄養教諭による小・中学校への情報提供や授業支援等のサポート体制も活用し、食に関する指導を積極的に実践します。 • 「自校方式」による中学校給食の再開に向け、取り組みを行います。 |
| <p>環境への 適応性</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 学校施設の屋上には太陽光発電設備を設置しており、大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例に準拠した環境整備に取り組めます。 |
| <p>地域の拠点化</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 「開かれた学校」づくりを通じ、学校と PTA・地域・関係諸機関との協働・連携を図り、地域の教育力を活かす学習活動を進めます。 • 新学習指導要領にある「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して、コミュニティ・スクールの導入に向けた研究・研修を実施します。 • 幼児・児童・生徒の連続的な学びと成長を図るため、幼稚園・保育所と小学校及び小学校と中学校の連携を継続して進めます。 |

第3章 教育施設等の実態

3-1 教育施設等を取り巻く状況

3-1-1 人口

本町における年齢3区分別人口の推移について、表3-1、図3-1に示します。

1995（平成7）年に年少人口と高齢者人口の逆転が起こり、2020（令和2）年の高齢化率は33.8%まで増加しています。また、今後について、高齢者人口は横ばいで推移しますが、年少人口及び生産年齢人口は減少することから、2045（令和27）年の総人口は、2020（令和2）年の約8割まで減少すると推計されています。

表3-1 年齢3区分別人口の推移(単位:人)

| | 年 | 総人口※1 | 年少人口 (15歳未満) | 生産年齢人口 (15～64歳) | 高齢者人口 (65歳以上) |
|-----|---------|--------|-----------------|--------------------|------------------|
| 実測値 | 1980年 | 29,931 | 7,024 | 19,696 | 3,206 |
| | 1985年 | 31,211 | 6,483 | 20,946 | 3,782 |
| | 1990年 | 31,599 | 5,222 | 21,994 | 4,361 |
| | 1995年 | 32,285 | 4,448 | 22,591 | 5,246 |
| | 2000年 | 32,259 | 3,968 | 22,100 | 6,160 |
| | 2005年 | 32,590 | 3,898 | 21,260 | 7,407 |
| | 2010年 | 33,032 | 4,051 | 20,150 | 8,810 |
| | 2015年 | 31,550 | 3,604 | 17,300 | 9,972 |
| | 2020年※2 | 31,249 | 3,480 | 16,541 | 10,554 |
| 推計値 | 2025年 | 29,373 | 3,042 | 15,702 | 10,629 |
| | 2030年 | 27,938 | 2,762 | 14,706 | 10,469 |
| | 2035年 | 26,422 | 2,530 | 13,300 | 10,593 |
| | 2040年 | 24,912 | 2,386 | 11,731 | 10,795 |
| | 2045年 | 23,467 | 2,270 | 10,614 | 10,583 |

※1 年齢不詳がいるため、年齢3区分別人口を加算しても総人口と一致しない。

※2 平成27年国勢調査の数値をもとに住民基本台帳の増減を加えて推計したものである。

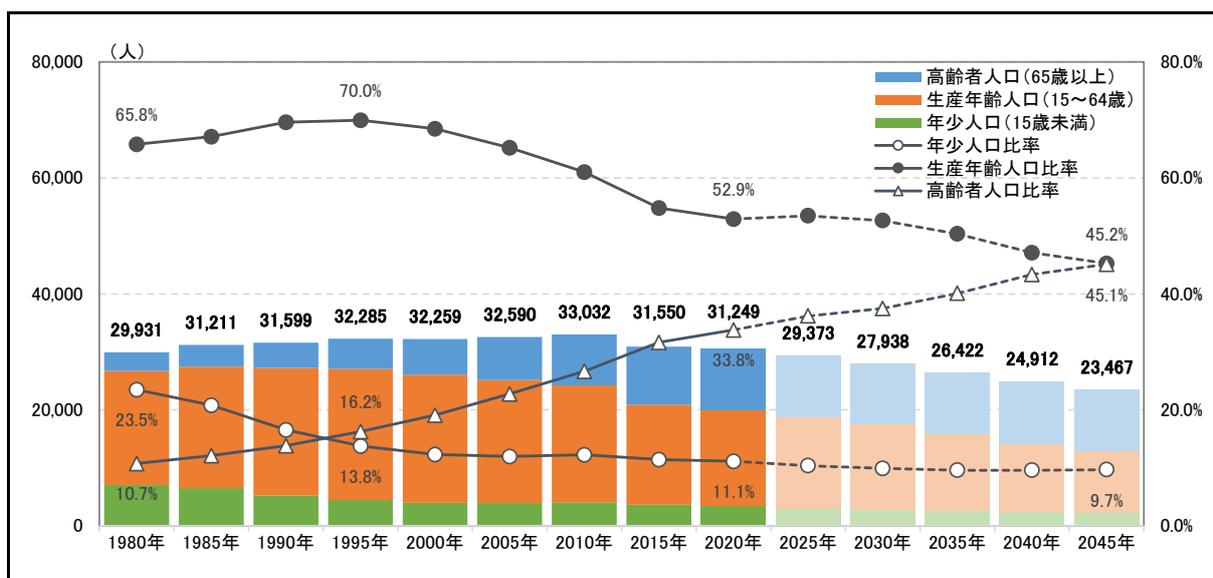


図3-1 年齢3区分別人口の推移

参考：「国勢調査（各年）」（総務省統計局）、「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）、「年齢（各歳・5歳階級）別、男女別人口（令和2年1月1日現在）」（大磯町）

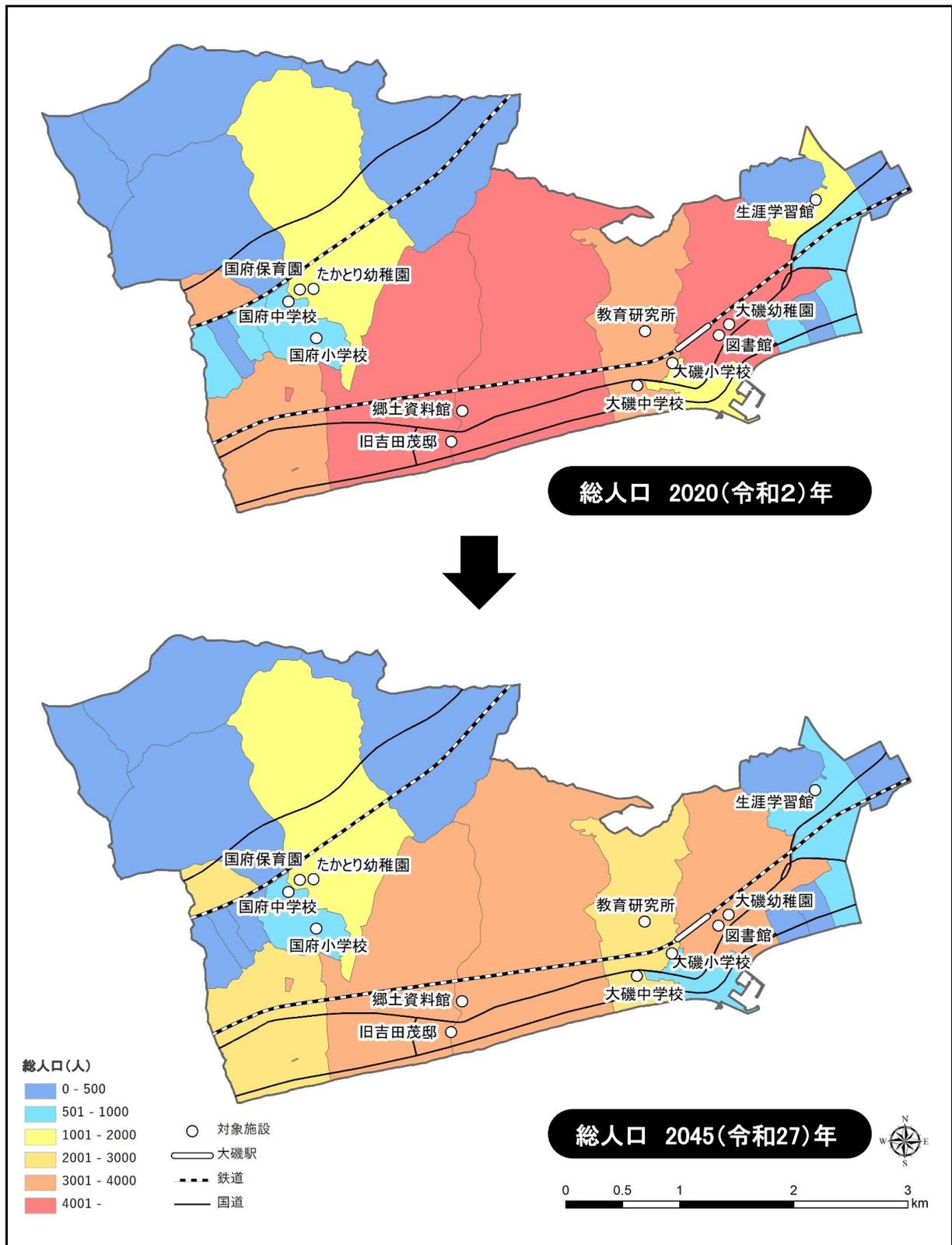


図3-2 (参考)総人口

参考：「年齢(各歳・5歳階級)別、男女別人口(令和2年1月1日現在)」(大磯町)
 「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)

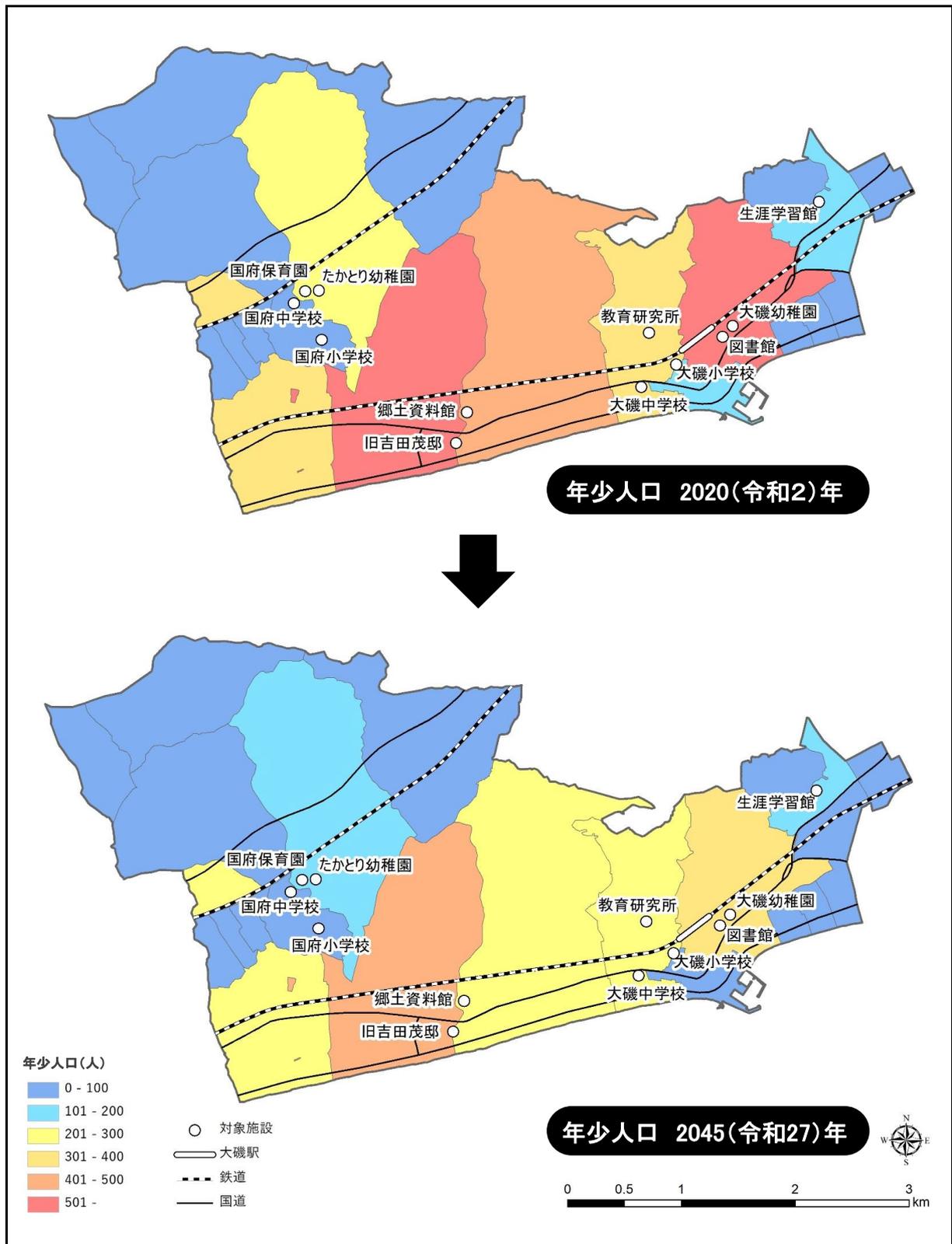


図3-3 (参考)年少人口

参考：「年齢(各歳・5歳階級)別、男女別人口(令和2年1月1日現在)」(大磯町)
 「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)

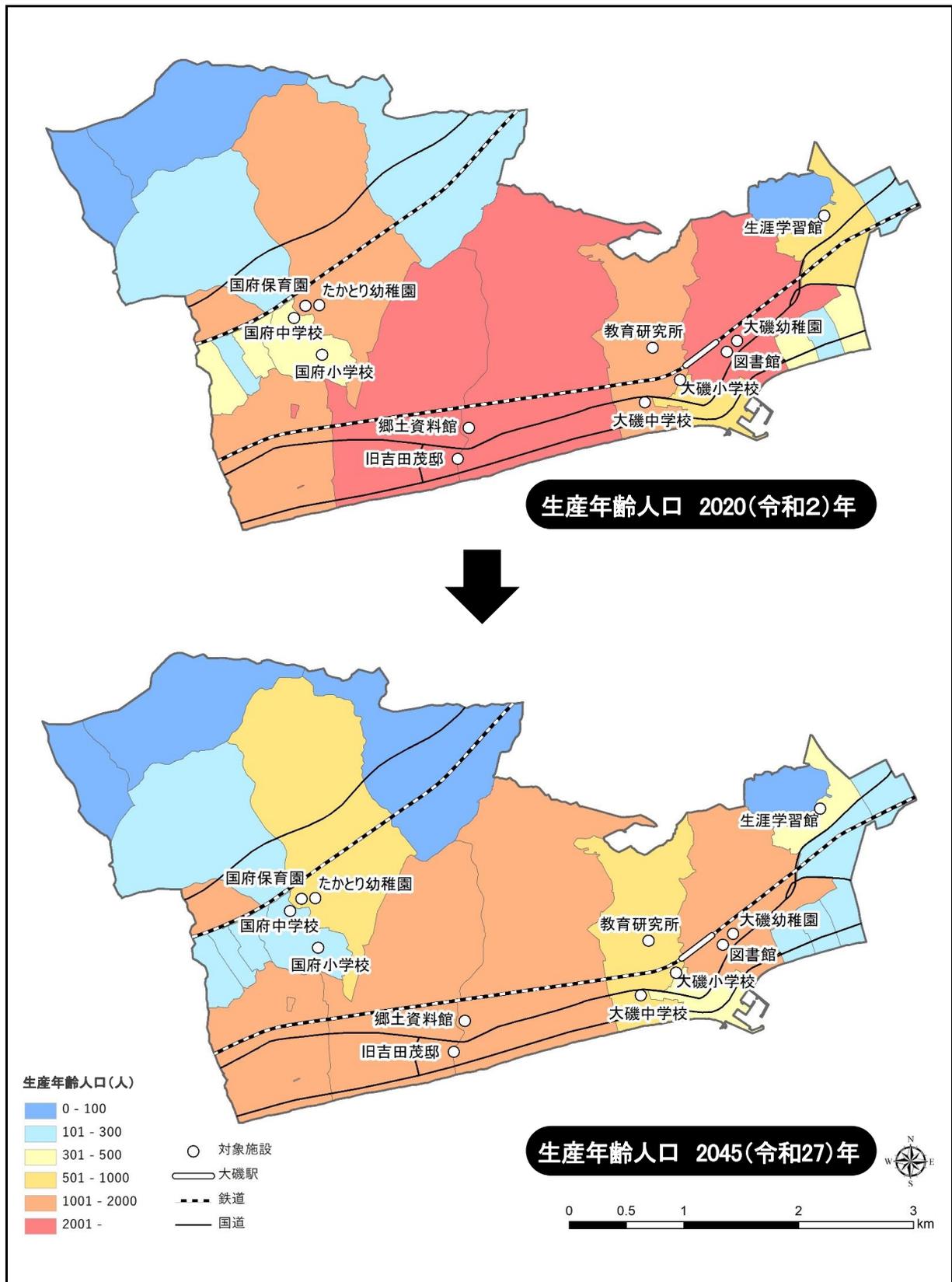


図3-4 (参考)生産年齢人口

参考：「年齢(各歳・5歳階級)別、男女別人口(令和2年1月1日現在)」(大磯町)
 「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)

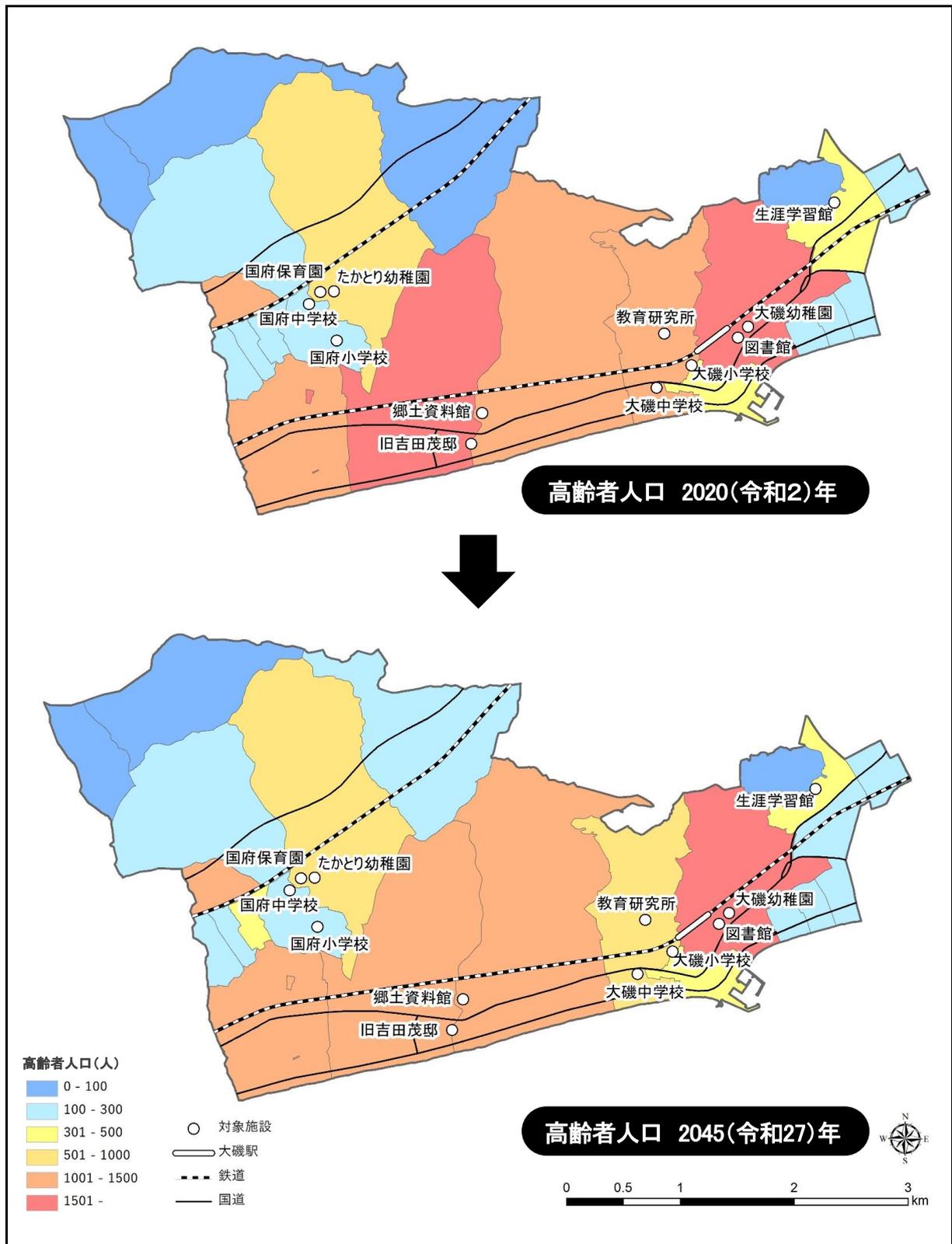


図3-5 (参考)高齢者人口

参考：「年齢(各歳・5歳階級)別、男女別人口(令和2年1月1日現在)」(大磯町)
 「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)

3-1-2 財政

(1) 歳入

2015（平成27）年度から2019（令和元）年度における歳入の推移について、表3-2、図3-6に示します。

歳入の推移について、約100億円前後を横ばいで推移しています。このうち、町税などの自主財源比率は約60%から約65%で推移しており、全体の半数以上を占めています。

また、町民税（個人分）の今後の見通しについて、「3-1-1 人口」に示したとおり高齢者人口は横ばいで推移する一方、生産年齢人口は減少すると推計されていることから、2045（令和27）年における総人口に対する生産年齢人口の割合は約45%と、2020（令和2）年の約53%から約10%も減少します。

よって、扶助費などの社会保障費の増加が見込まれることで教育施設等の改修や改築費用を確保することが難しくなることから、国庫補助金等を計画的に活用することが重要です。

表3-2 歳入の推移(単位:千円)

| 項目 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|----------------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| 歳入 | 11,106,059 | 10,829,476 | 11,262,299 | 9,942,240 | 11,816,509 |
| 歳入における 自主財源 | 6,696,739 | 6,730,540 | 6,727,261 | 6,474,093 | 7,137,007 |
| 自主財源比率 | 60.3% | 62.2% | 59.7% | 65.1% | 60.4% |

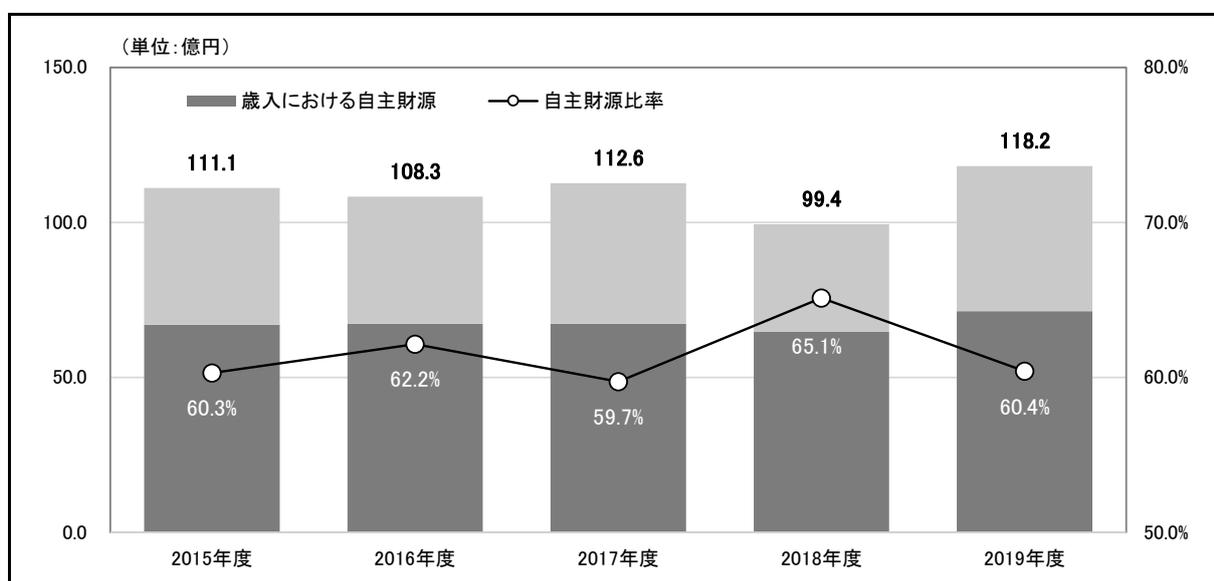


図3-6 歳入の推移

参考：大磯町一般会計歳入歳出決算書（各年度）

(2) 歳出

2015（平成 27）年度から 2019（令和元）年度における歳出の推移について、表 3-3、図 3-7 に示します。

歳出について、2018（平成 30）年度に約 93 億円となりましたが、この他の年度は、約 100 億円で推移しています。

歳出に対する教育費の比率は、約 7% から約 11% で推移しています。2015（平成 27）年度及び 2016（平成 28）年度が高くなっていますが、大磯小学校グラウンドや国府中学校体育館の改修工事、郷土資料館のリニューアル工事及び旧吉田茂邸の再建事業によるものです。

表 3-3 歳出の推移(単位:千円)

| 項目 | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| 歳出 | 10,352,988 | 10,215,678 | 10,838,538 | 9,273,273 | 10,897,865 |
| うち教育費 | 1,143,994 | 1,101,541 | 766,571 | 738,073 | 804,275 |
| 教育総務費 | 196,828 | 196,824 | 208,926 | 232,498 | 306,356 |
| 小学校費 | 179,716 | 120,428 | 123,015 | 113,010 | 122,085 |
| 中学校費 | 135,825 | 171,390 | 65,998 | 62,607 | 49,751 |
| 幼稚園費 | 181,009 | 152,651 | 154,940 | 138,593 | 149,130 |
| 社会教育費 | 440,308 | 450,199 | 203,352 | 180,963 | 167,128 |
| 保健体育費 | 10,308 | 10,049 | 10,340 | 10,402 | 9,825 |
| 歳出に対する教育費比率 | 11.1% | 10.8% | 7.1% | 8.0% | 7.4% |

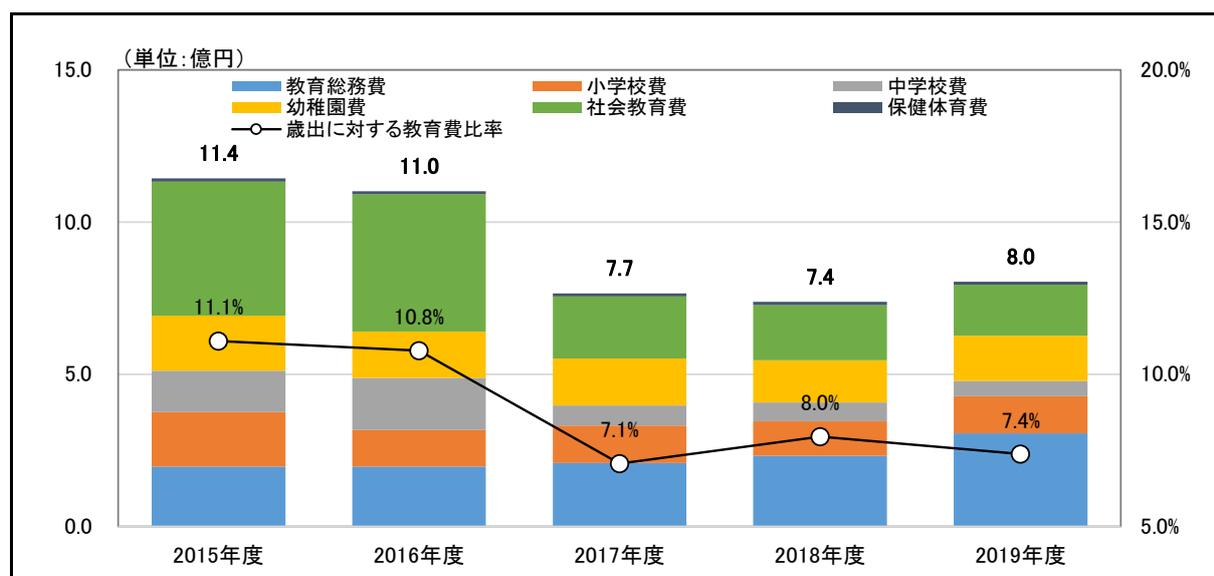


図 3-7 歳出の推移

参考：大磯町一般会計歳入歳出決算書（各年度）

3-1-3 施設配置の状況

(1) 施設配置

教育施設等の配置状況は、図3-8に示すとおりです。

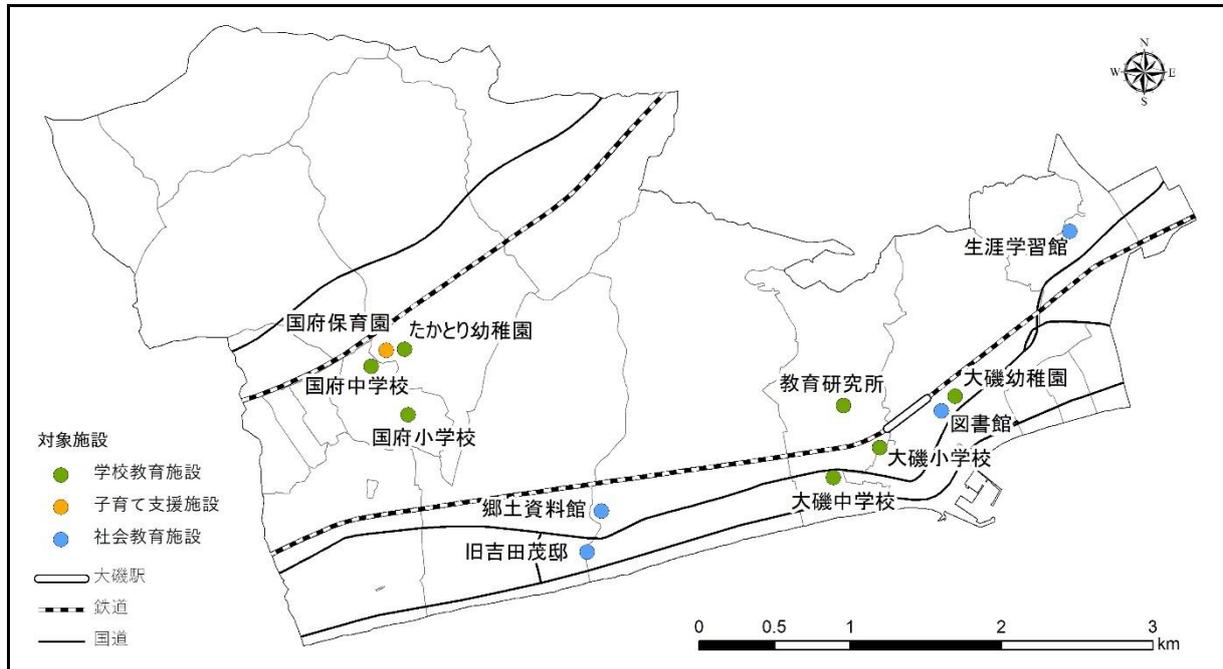


図3-8 教育施設等の施設配置

(2) 避難所等の指定状況

本町では、地震災害などにより火災が延焼拡大し、地域全体が危険になったときに避難する「広域避難場所」をはじめ、災害が発生または発生するおそれがある場合、その危険から逃れるための「指定緊急避難場所」及び倒壊や焼失等により自宅に帰宅できない被災者の生活環境を確保するための「指定避難所」に教育施設等を指定しています。

教育施設等における避難所等の指定状況は、表3-4に示すとおりです。

表3-4 広域避難場所、指定緊急避難場所及び指定避難所の指定状況

| 施設類型 | 施設名 | 広域避難場所 | 指定緊急避難場所 | | | | | 指定避難所 |
|---------|-----------|--------|----------|--------------|----|----|--------|-------|
| | | | 洪水 | 崖崩れ、土石流及び地滑り | 地震 | 津波 | 大規模な火災 | |
| 学校教育施設 | 1 大磯小学校 | | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| | 2 国府小学校 | | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| | 3 大磯中学校 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| | 4 国府中学校 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| | 5 大磯幼稚園 | | | | | | | |
| | 6 たかとり幼稚園 | | | | | | | |
| | 7 教育研究所 | | | | | | | |
| 子育て支援施設 | 8 国府保育園 | | | | | | | |
| 社会教育施設 | 9 生涯学習館 | | ○ | | ○ | | | |
| | 10 郷土資料館 | | ○ | | ○ | | | |
| | 11 旧吉田茂邸 | | | | | | | |
| | 12 図書館 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

参考：大磯町ホームページ「広域避難場所・指定緊急避難場所・指定避難所等」

3-1-4 教育施設等の利用状況

(1) 学校教育施設

本町の学校教育施設は、小学校2校、中学校2校、幼稚園2園及び教育研究所の7施設があります。

小学校及び中学校における児童・生徒数及び学級数の推移を表3-5、図3-9に、通学区域を図3-10に示します。

本町における小学校と中学校の学区は同じ区域であり、過去5年間における児童・生徒数は、横ばいで推移していることから、学校1校当たりの学級数も横ばいで推移し、大きな増減はありません。

表3-5 児童・生徒数及び学級数の推移(各年5月1日現在)

| 施設名 | | 児童・生徒数(人) | | | | |
|-----|-------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
| 小学校 | 大磯小学校 | 869 | 890 | 888 | 893 | 886 |
| | 国府小学校 | 698 | 698 | 680 | 669 | 632 |
| | 小学校計 | 1,567 | 1,588 | 1,568 | 1,562 | 1,518 |
| 中学校 | 大磯中学校 | 397 | 403 | 407 | 408 | 422 |
| | 国府中学校 | 345 | 353 | 341 | 340 | 343 |
| | 中学校計 | 742 | 756 | 748 | 748 | 765 |
| 合計 | | 2,309 | 2,344 | 2,316 | 2,310 | 2,283 |

| 施設名 | | 学級数(学級) | | | | |
|-----|-------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
| 小学校 | 大磯小学校 | 28 | 28 | 29 | 30 | 32 |
| | 国府小学校 | 23 | 23 | 21 | 22 | 21 |
| | 小学校計 | 51 | 51 | 50 | 52 | 53 |
| 中学校 | 大磯中学校 | 14 | 14 | 14 | 14 | 15 |
| | 国府中学校 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 |
| | 中学校計 | 26 | 26 | 25 | 25 | 26 |
| 合計 | | 77 | 77 | 75 | 77 | 79 |

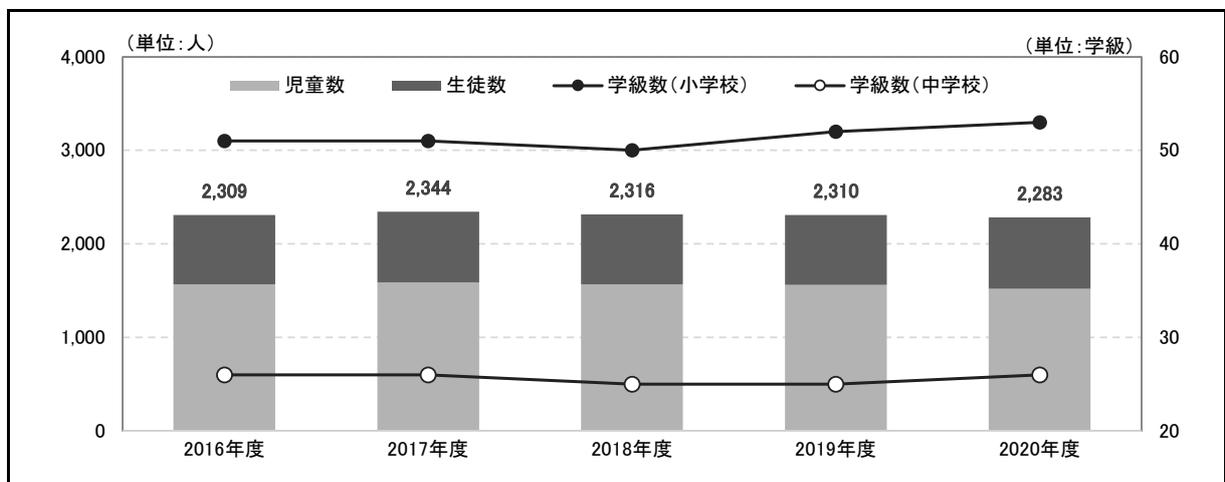


図3-9 児童・生徒数及び学級数の推移

参考：大磯町学校教育課資料（学校基本調査結果）

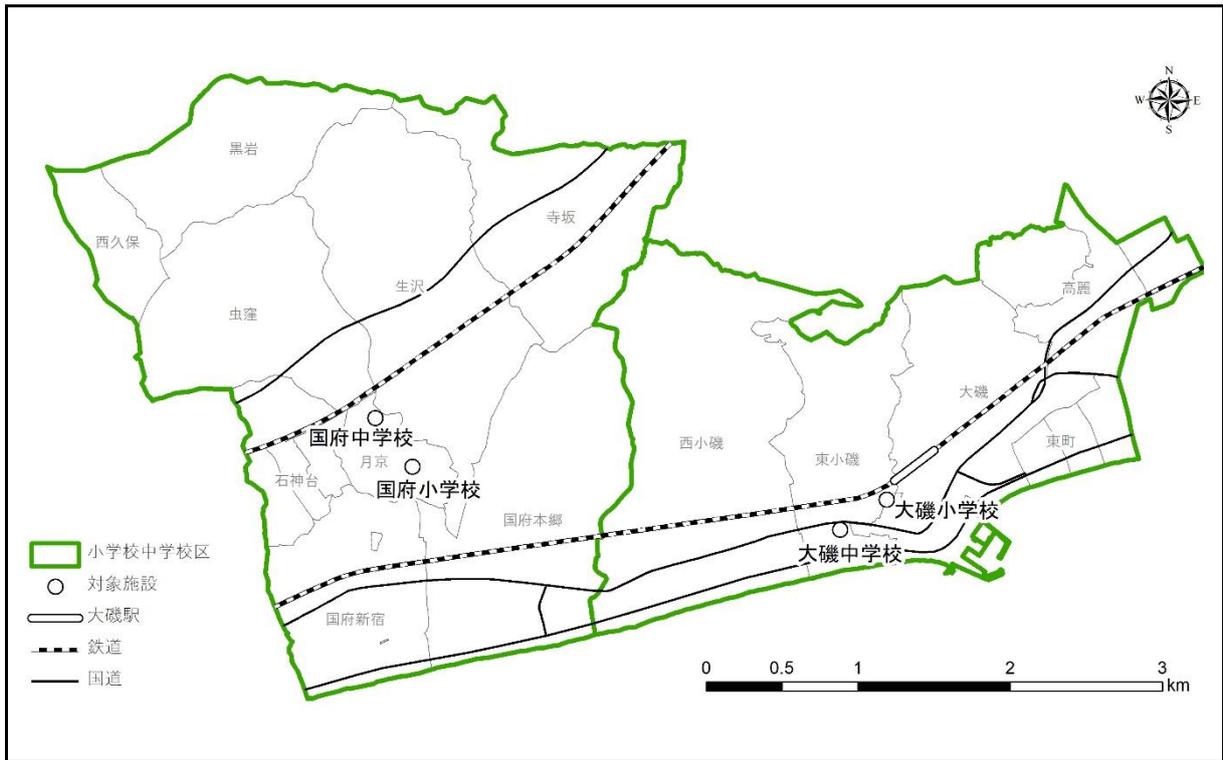


図3-10 小学校区及び中学校区

参考：大磯町ホームページ「大磯町立小学校及び中学校の通学区域」

町立幼稚園について、2018（平成30）年度から国府幼稚園をたかとり幼稚園に統合したことにより、現在は、大磯幼稚園、たかとり幼稚園の2園となっています。

幼稚園における園児数及び学級数の推移について、表3-6、図3-11に示します。

園児数について、2016（平成28）年度の265人から減少傾向にあります。幼稚園1園当たりの学級数は横ばいで推移しています。

表3-6 園児数及び学級数の推移(各年4月1日現在)

| 施設名 | 園児数(人) | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
| 大磯幼稚園 | 151 | 135 | 128 | 111 | 98 |
| たかとり幼稚園 | 114 | 90 | 87 | 76 | 82 |
| 合計 | 265 | 225 | 215 | 187 | 180 |

| 施設名 | 学級数(学級) | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
| 大磯幼稚園 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| たかとり幼稚園 | 6 | 6 | 5 | 4 | 5 |
| 合計 | 12 | 12 | 11 | 10 | 11 |

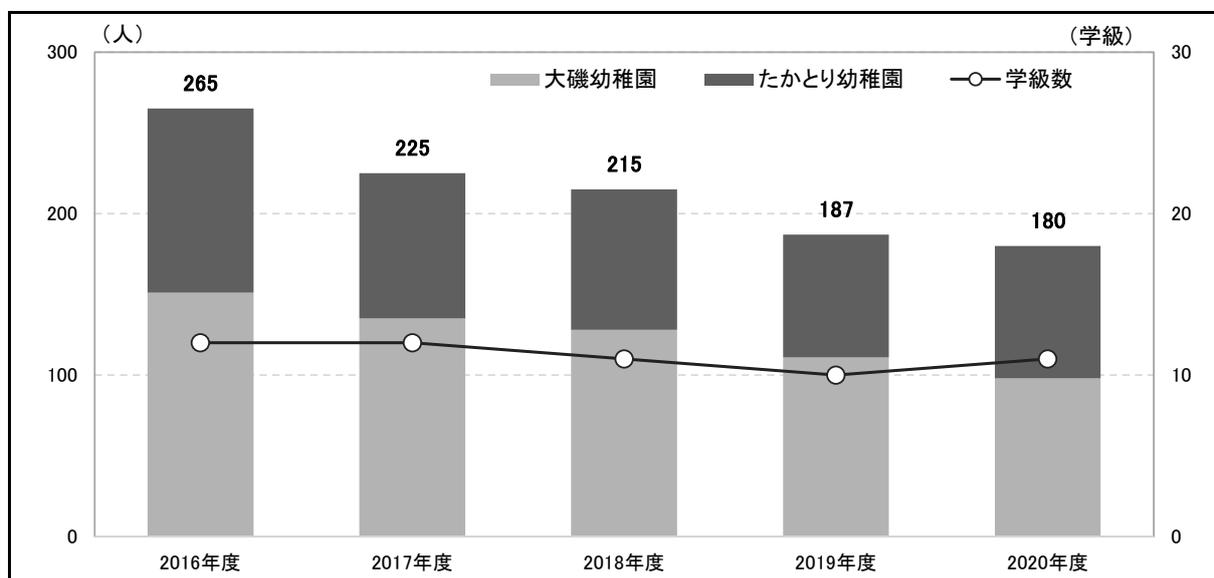


図3-11 園児数及び学級数の推移

参考：大磯町子育て支援課資料

(2) 子育て支援施設

本町における公立保育園は、国府保育園のみです。

園児数及び学級数の推移について、表3-7、図3-12に示します。

園児数は年度により増減はありますが、概ね80人から90人程度で推移しています。

また、学級数については、各歳児1学級の全6学級となっています。

表3-7 各歳児別園児数の推移(各年4月1日現在)

| 年齢 | 園児数(人) | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
| 0歳児 | 4 | 5 | 1 | 5 | 1 |
| 1歳児 | 15 | 13 | 13 | 15 | 10 |
| 2歳児 | 17 | 18 | 17 | 17 | 18 |
| 3歳児 | 15 | 20 | 12 | 17 | 17 |
| 4歳児 | 20 | 15 | 20 | 14 | 17 |
| 5歳児 | 21 | 23 | 15 | 19 | 14 |
| 合計 | 92 | 94 | 78 | 87 | 77 |

※0歳児から5歳児の各学級は、いずれの年度も各1学級で全6学級である。

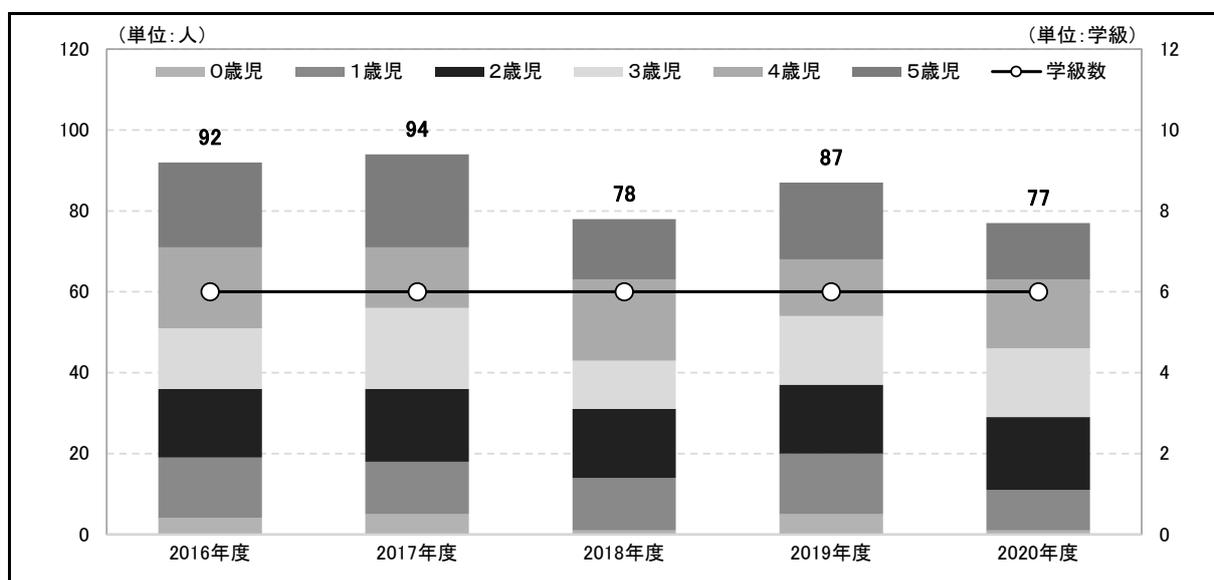


図3-12 園児数及び学級数の推移

参考：大磯町子育て支援課資料

本町における待機児童数の推移について、表3-8、図3-13に示します。

2016（平成28）年度から2020（令和2）年度までの待機児童数は、20人前後で推移しており、2020（令和2）年度における待機児童数は15人、保留児童数は65人となっています。

また、類似団体と比較すると、待機児童数及び保留児童数ともに、葉山町に次いで2番目に多い自治体となっています。

表3-8 待機児童数の推移(各年4月1日現在)

| | 待機児童数(人) | | | | | 2020年度 保留児童数※ (人) | |
|------|----------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|----|
| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | | |
| 大磯町 | 18 | 18 | 13 | 21 | 15 | 65 | |
| 類似団体 | 葉山町 | 9 | 47 | 41 | 52 | 52 | 69 |
| | 寒川町 | 10 | 11 | 5 | 5 | 4 | 55 |
| | 二宮町 | 0 | 5 | 1 | 0 | 2 | 4 |
| | 湯河原町 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 愛川町 | 4 | 16 | 27 | 14 | 4 | 37 |

※保育所等への利用申込みをしているが、利用できていない児童の数を示す。

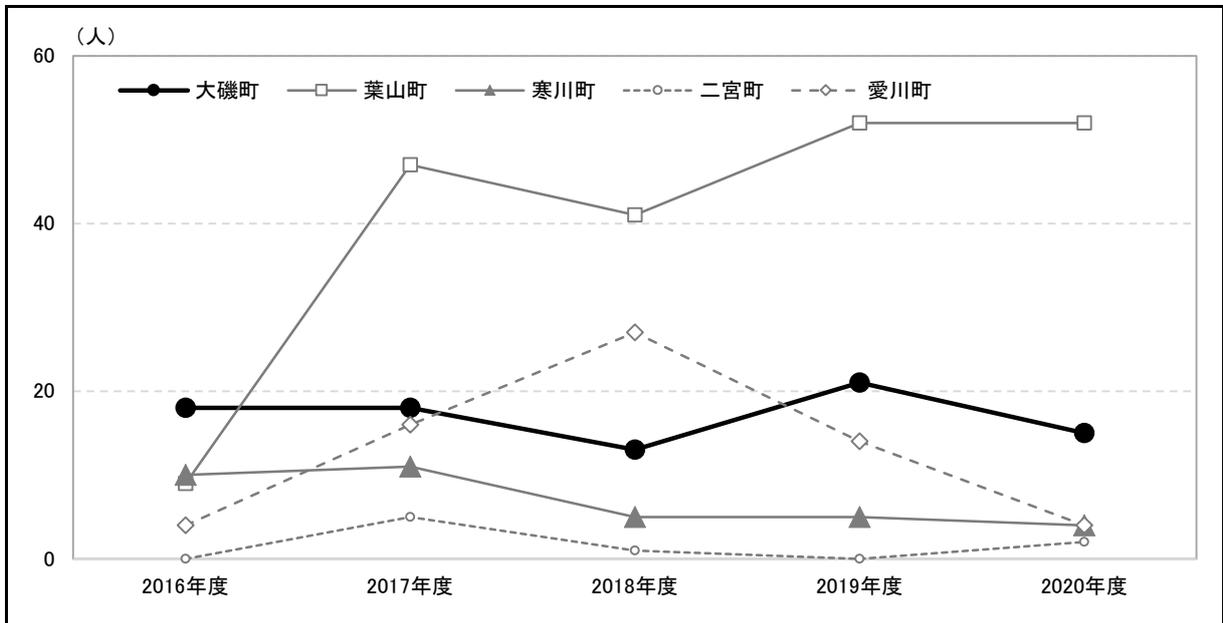


図3-13 待機児童数の推移

参考：大磯町子育て支援課資料

(3) 社会教育施設

本町における社会教育施設は、生涯学習館、郷土資料館、旧吉田茂邸及び図書館の4施設があり、それぞれが生涯学習の拠点施設として連携し、学ぶ場を提供しています。

生涯学習館、郷土資料館、旧吉田茂邸及び生涯学習館の利用状況について、表3-9、図3-14に示します。

郷土資料館は、2016（平成28）年度に展示リニューアル工事に伴う休館により、一時的に利用者が減少しました。また、社会教育施設は、2019（令和元）年度末及び2020（令和2）年度において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために一定期間休館していたことから、利用者数が大幅に減少しています。

表3-9 利用者数の推移(単位:人)

| 施設名 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 生涯学習館 | 26,137 | 23,942 | 25,017 | 20,811 | 7,583 |
| 郷土資料館 | 17,862 | 35,826 | 28,900 | 22,201 | 11,053 |
| 旧吉田茂邸 | - | 104,227 | 62,698 | 38,755 | 11,270 |
| 合計 | 43,999 | 163,995 | 116,615 | 81,767 | 29,906 |

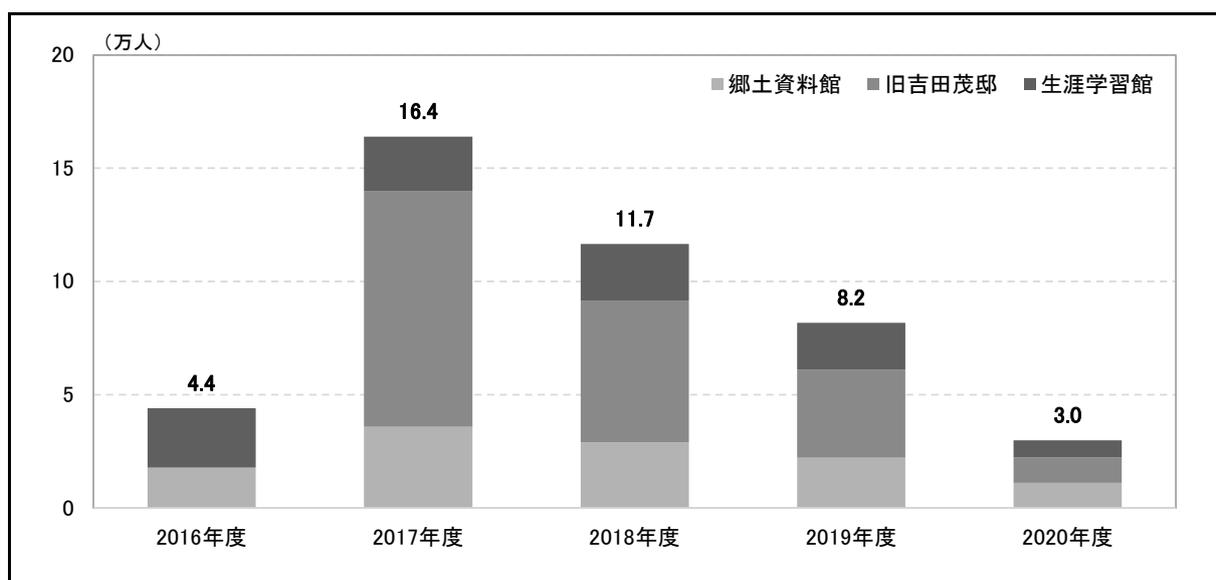


図3-14 利用者数の推移

参考：大磯町資料（令和2年版大磯の統計ほか）

図書館の貸出点数の推移について、表3-10、図3-15に示します。

過去5年間における開館日数は、約290日前後で推移していますが、開館1日当たりの貸出点数は、2016（平成28）年度をピークに減少傾向にあります。また、利用されている種類について、一般図書が最も多く、次いで児童図書となっています。

表3-10 開館日数と貸出点数の推移

| 項目 | | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------------|----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 開館日数 | | 292 | 290 | 292 | 270* | 228* |
| 種類 | 一般 | 83,067 | 78,997 | 80,715 | 72,445 | 58,650 |
| | 児童 | 42,054 | 40,337 | 39,053 | 35,029 | 29,885 |
| | 雑誌 | 10,106 | 8,957 | 8,421 | 7,845 | 5,581 |
| | AV | 9,672 | 9,231 | 8,523 | 8,086 | 6,046 |
| 合計(点) | | 144,899 | 137,522 | 136,712 | 123,405 | 100,162 |
| 開館1日当たりの貸出点数(点/日) | | 496 | 474 | 468 | 457 | 439 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために一定期間休館している。

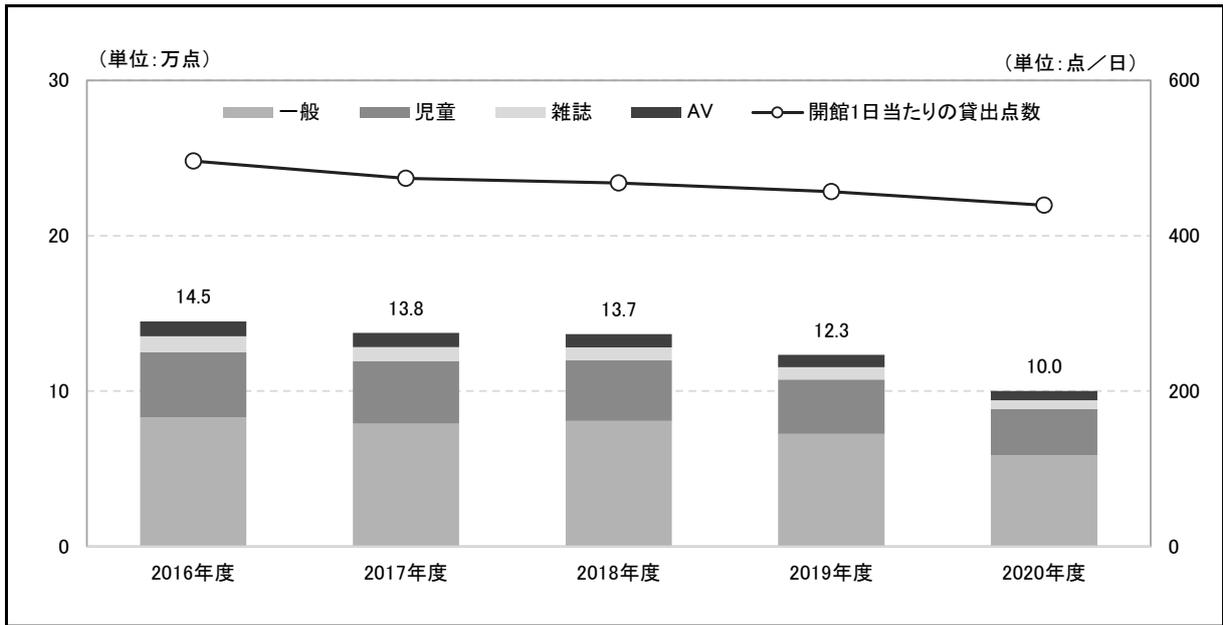


図3-15 貸出点数の推移

参考：大磯町資料（令和2年版大磯の統計ほか）

3-1-5 施設関連経費の推移

日常における維持修繕や光熱水費等の運営費の推移について、表3-11、図3-16に示します。

2015（平成27）年度から2019（令和元）年度までの5年間における運営費は、約1.0億円から約2.6億円であり、5年間の平均は約1.7億円／年となっています。

また、保守点検費（主に委託費）や光熱水費という日常において維持するための費用を除くと、5年間の平均は約1.0億円／年です。

表3-11 施設関連経費の推移(単位:千円)

| 施設類型 | 項目 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---------------|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 学校教育施設 | 維持修繕費 | 157,521 | 113,820 | 18,892 | 27,836 | 57,844 |
| | 保守点検費 | 10,936 | 11,018 | 11,250 | 12,840 | 12,749 |
| | 光熱水費 | 29,891 | 28,726 | 30,337 | 27,975 | 30,752 |
| | 小計 | 198,348 | 153,564 | 60,479 | 68,651 | 101,344 |
| 子育て支援施設 | 維持修繕費 | 1,161 | 490 | 1,053 | 1,222 | 2,737 |
| | 保守点検費 | 378 | 364 | 369 | 371 | 374 |
| | 光熱水費 | 2,537 | 2,299 | 2,431 | 2,502 | 2,507 |
| | 小計 | 4,076 | 3,153 | 3,853 | 4,095 | 5,618 |
| 社会教育施設 | 維持修繕費 | 30,874 | 82,712 | 4,523 | 3,704 | 2,277 |
| | 保守点検費 | 13,038 | 12,514 | 17,893 | 16,674 | 19,072 |
| | 光熱水費 | 8,058 | 6,939 | 8,710 | 8,147 | 8,214 |
| | 小計 | 51,970 | 102,166 | 31,125 | 28,525 | 29,563 |
| 合計 (教育施設等) | 維持修繕費 | 189,556 | 197,023 | 24,468 | 32,762 | 62,858 |
| | 保守点検費 | 24,352 | 23,896 | 29,512 | 29,885 | 32,194 |
| | 光熱水費 | 40,486 | 37,964 | 41,478 | 38,624 | 41,473 |
| | 合計 | 254,394 | 258,883 | 95,457 | 101,271 | 136,525 |

※四捨五入しているため、合算しても合計と一致しない。

※学校教育施設には教育研究所が含まれているが、2015（平成27）年度から2018（平成30）年度までは私立こいそ幼稚園内施設、2019（令和元）年度は現在地（旧横溝千鶴子邸）における費用である。

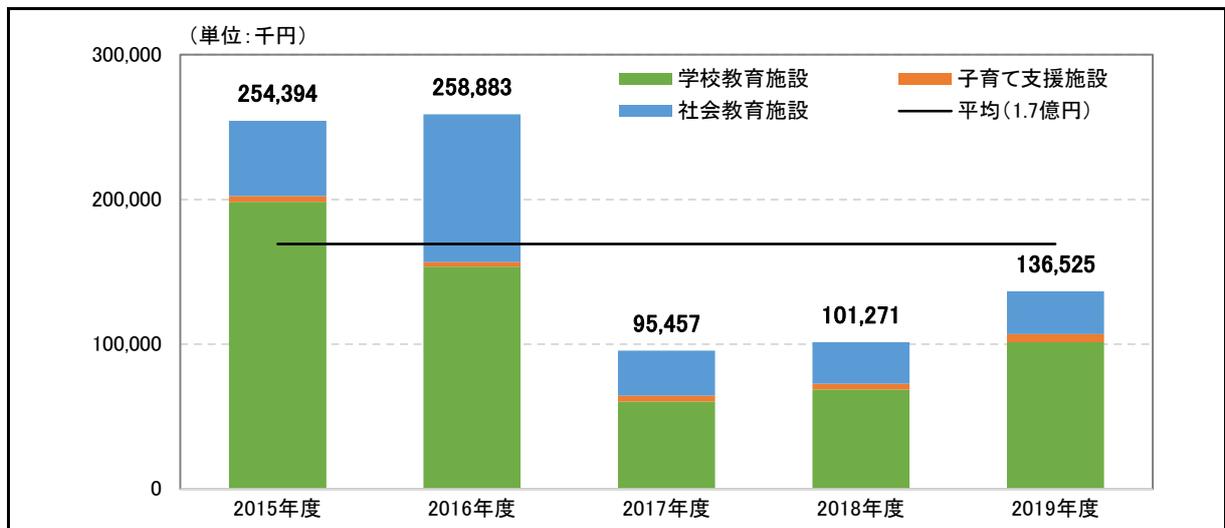


図3-16 施設関連経費の推移

参考：大磯町一般会計歳入歳出決算書（各年度）

3-1-6 教育施設等の保有量

(1) 建築年度別の延床面積

教育施設等の保有量について、表3-12、図3-17に示します。

教育施設等の延床面積について、学校教育施設は34,830㎡(35棟)、子育て支援施設は727㎡(1棟)、社会教育施設は4,860㎡(4棟)の計40,417㎡(40棟)を保有しています。

教育施設等の整備は、1980(昭和55)年度から1991(平成3)年度にかけて多く整備されており、建築後40年を超える教育施設等は全体の約3割を占めていることから、今後、集中的に改修や改築の時期を迎えることになります。

表3-12 築年数からみた教育施設等の保有量(単位:㎡)

| 築年数 | 延床面積(㎡) | 内訳 | | |
|--------|-----------------|--------|---------|--------|
| | | 学校教育施設 | 子育て支援施設 | 社会教育施設 |
| 築50年以上 | 3,852 (9.5%) | 3,852 | - | - |
| 築40年以上 | 8,221 (20.3%) | 7,741 | - | 480 |
| 築30年以上 | 12,246 (30.3%) | 7,882 | 727 | 3,637 |
| 築20年以上 | 13,938 (34.5%) | 13,938 | - | - |
| 築10年以上 | 1,173 (2.9%) | 1,173 | - | - |
| 築10年未満 | 987 (2.4%) | 244 | - | 743 |
| 合計 | 40,417 (100.0%) | 34,830 | 727 | 4,860 |

※四捨五入しているため、合算しても100.0%にならない。

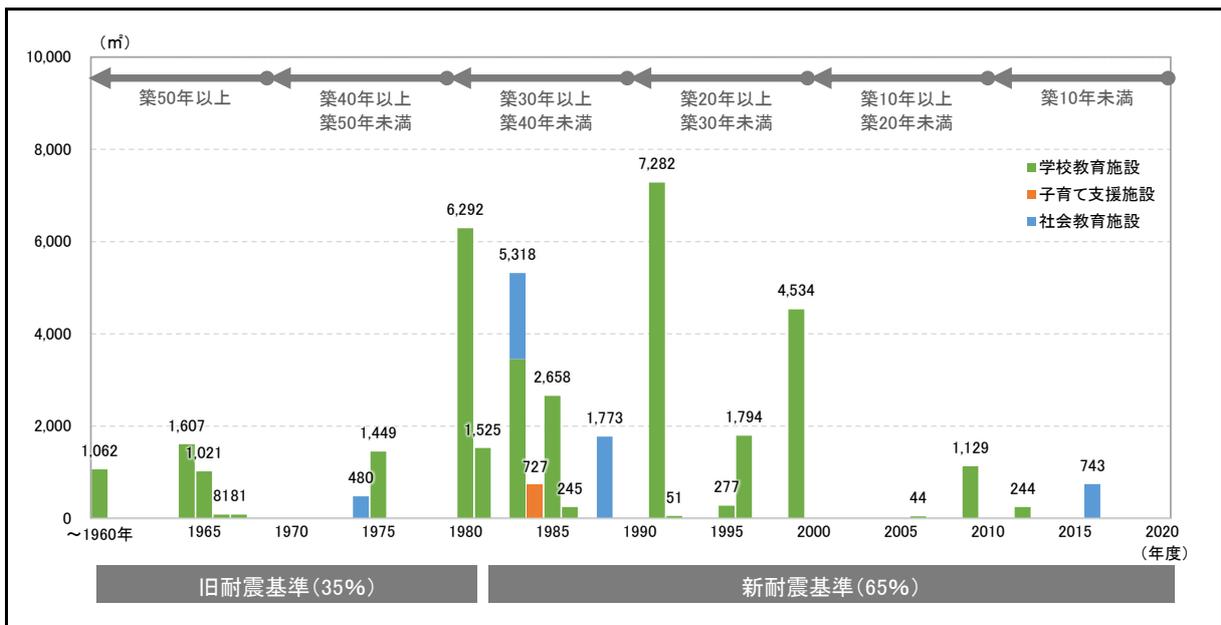


図3-17 建築年度別延床面積の推移

※小学校、中学校及び幼稚園の延床面積には保有控除建物を含む。

参考：大磯町資料（令和2年度公立学校施設台帳ほか）

(2) 耐震基準及び耐震化の状況

教育施設等の耐震基準及び耐震化の状況について、表3-13、図3-18に示します。

教育施設等の40棟うち、旧耐震基準¹の建物は14棟と全体の約4割を占めています。この旧耐震基準の建物のうち、12棟については耐震診断を実施し、耐震化の必要があると認められた11棟については、耐震補強工事を実施しています。

表3-13 耐震基準及び耐震化の状況(単位:棟)

| 施設類型 | 耐震基準 | | 耐震診断 | | 耐震補強工事 | |
|---------|------|-----|------|-----|--------|----|
| | 旧耐震 | 新耐震 | 実施 | 未実施 | 実施 | 不要 |
| 学校教育施設 | 13 | 22 | 11 | 2 | 10 | 1 |
| 子育て支援施設 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 社会教育施設 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 合計 | 14 | 26 | 12 | 2 | 11 | 1 |

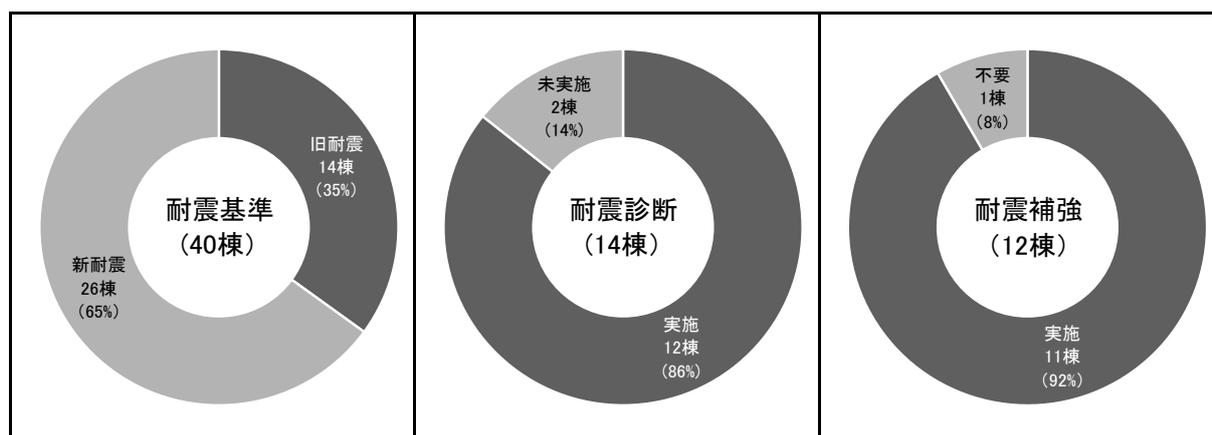


図3-18 耐震基準、耐震診断及び耐震補強工事の状況

※延床面積 200 m²未満の小規模建築物を含む。

参考：大磯町資料（令和2年度公立学校施設台帳ほか）

¹ 旧耐震基準とは、建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準のことで、1981年（昭和56年）5月31日までの建築確認において適用されていた基準を示す。これに対し、その翌日以降に適用されている基準を「新耐震基準」という。

3-2 構造躯体の健全性の評価及び部位の劣化状況等の評価

3-2-1 対象施設

構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価について、表3-14に示す教育施設等（12施設、40棟）を対象に実態を調査しました。

表3-14 劣化状況調査の対象施設

| 施設類型 | 施設名 | 建物名 | 構造 | 延床面積(m ²) | 建築年度 |
|-----------|----------|------------|-------|-----------------------|------|
| 学校教育施設 | 1 大磯小学校 | 1 本館 | RC | 2,434 | 1999 |
| | | 2 南校舎 | RC | 2,100 | 1999 |
| | | 3 中校舎 | RC | 2,148 | 1985 |
| | | 4 西校舎 | RC | 510 | 1985 |
| | | 5 給食室 | RC | 245 | 1986 |
| | | 6 体育館 | RC | 1,261 | 1975 |
| | | 7 学童 | RC | 188 | 1975 |
| | | 8 学童 | RC | 44 | 2006 |
| | 2 国府小学校 | 9 南校舎 | RC | 2,989 | 1991 |
| | | 10 北校舎 | RC | 3,579 | 1991 |
| | | 11 校舎 | RC | 714 | 1991 |
| | | 12 体育館 | RC | 1,437 | 1996 |
| | | 13 倉庫 | RC | 357 | 1996 |
| | | 14 プール | RC | 208 | 2012 |
| | | 15 プール | RC | 36 | 2012 |
| | 3 大磯中学校 | 16 1号館 | RC | 1,062 | 1959 |
| | | 17 2号館 | RC | 1,476 | 1964 |
| | | 18 2号館トイレ | RC | 36 | 1983 |
| | | 19 3号館 | RC | 3,180 | 1983 |
| | | 20 昇降口 | RC | 131 | 1964 |
| | | 21 体育準備室 | S | 81 | 1966 |
| | | 22 体育準備室 | S | 8 | 1992 |
| | | 23 体育館 | S | 1,021 | 1965 |
| | | 24 体育館トイレ | S | 81 | 1967 |
| | 25 部室 | RC | 168 | 1995 | |
| | 4 国府中学校 | 26 A棟 | RC | 2,023 | 1980 |
| | | 27 A棟 | RC | 1,135 | 1980 |
| | | 28 廊下 | S | 43 | 1992 |
| | | 29 B棟 | RC | 2,009 | 1980 |
| | | 30 体育館 | RC | 1,525 | 1981 |
| | | 31 部室 | S | 109 | 1995 |
| 5 大磯幼稚園 | 32 園舎 | RC | 1,125 | 1980 | |
| 6 たかとり幼稚園 | 33 園舎 | RC | 1,117 | 2009 | |
| | 34 園舎 | RC | 12 | 2009 | |
| 7 教育研究所 | 35 教育研究所 | W | 238 | 1983 | |
| 子育て支援施設 | 8 国府保育園 | 36 保育園 | RC | 727 | 1984 |
| 社会教育施設 | 9 生涯学習館 | 37 生涯学習館 | RC | 480 | 1974 |
| | 10 郷土資料館 | 38 郷土資料館 | RC | 1,773 | 1988 |
| | 11 旧吉田茂邸 | 39 旧吉田茂邸 | W | 743 | 2016 |
| | 12 図書館 | 40 図書館(複合) | RC | 1,864 | 1983 |

3-2-2 構造躯体の評価

構造躯体の健全性を評価するため、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成27年4月）」「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」を参考に調査しました。耐震診断報告書における構造躯体のデータを活用し、図3-19に示す長寿命化の判定フローにより、長寿命化を図ることが可能な建物を「長寿命」、長寿命化を図ることが難しい建物を「要調査」に判定しました。

判定結果について、対象施設40棟のうち「長寿命」は39棟、「要調査」は、大磯中学校（1号館）の1棟でした。

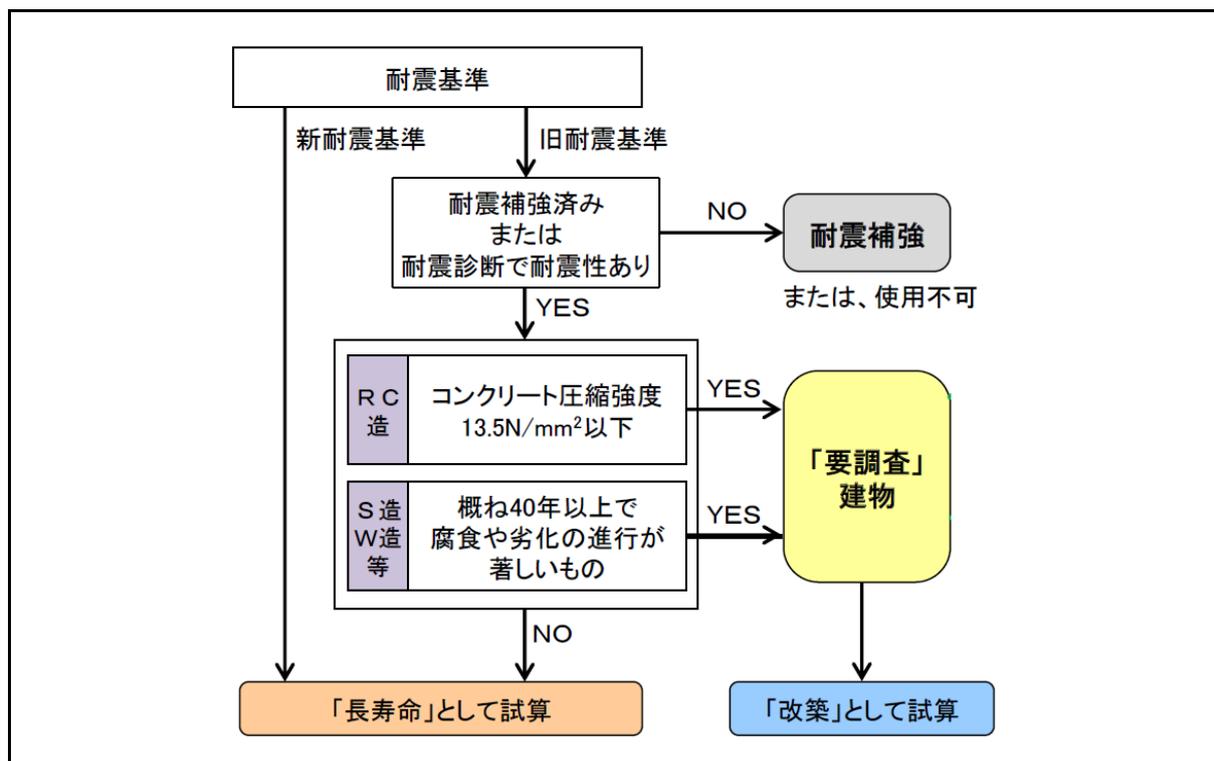


図3-19 長寿命化の判定フロー

出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」

3-2-3 部位の評価

部位の劣化状況は、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成27年4月）」「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」を参考に調査しました。屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備及び機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本とし、表3-15に示すA・B・C・Dの4段階で評価しました。

また、各建物の部位（屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備）について、表3-16に示す部位の評価点と部位のコスト配分を定め、健全度を100点満点で算定しました。対象施設ごとの結果は、表3-17に示すとおりです。

表3-15 評価基準

| 目視による評価【屋根・屋上、外壁】 | | 経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】 | | |
|-------------------|----|---|----|-----------------------|
| 評価 | 基準 | 評価 | 基準 | |
| | A | 概ね良好 | A | 20年未満 |
| | B | 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし) | B | 20~40年 |
| | C | 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の際) | C | 40年以上 |
| | D | 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等 | D | 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合 |

出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」

表3-16 部位の評価点・コスト配分、健全度の算定

| ①部位の評価点 | | ③健全度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|--|--------|---------|----|-----|----|--|---------|---|----|-------|-------|------|---|----|--------|-------|---------|---|----|--------|---------|--------|---|-----|-------|-------|--------|---|----|-------|-------|---|--|--|--|-------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|--------|
| | 評価点 | 総和(部位の評価点×部位のコスト配分) ÷ 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A | 100 | ※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。 ※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。 (右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B | 75 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| D | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②部位のコスト配分 | | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>配分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 屋根・屋上</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>× 5.1</td> <td>= 204</td> </tr> <tr> <td>2 外壁</td> <td>D</td> <td>10</td> <td>× 17.2</td> <td>= 172</td> </tr> <tr> <td>3 内部仕上げ</td> <td>B</td> <td>75</td> <td>× 22.4</td> <td>= 1,680</td> </tr> <tr> <td>4 電気設備</td> <td>A</td> <td>100</td> <td>× 8.0</td> <td>= 800</td> </tr> <tr> <td>5 機械設備</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>× 7.3</td> <td>= 292</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">計</td> <td>3,148</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;"></td> <td>÷ 60</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;"></td> <td>健全度 52</td> </tr> </tbody> </table> | | | 評価 | 評価点 | 配分 | | 1 屋根・屋上 | C | 40 | × 5.1 | = 204 | 2 外壁 | D | 10 | × 17.2 | = 172 | 3 内部仕上げ | B | 75 | × 22.4 | = 1,680 | 4 電気設備 | A | 100 | × 8.0 | = 800 | 5 機械設備 | C | 40 | × 7.3 | = 292 | 計 | | | | 3,148 | | | | | ÷ 60 | | | | | 健全度 52 |
| | 評価 | 評価点 | 配分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 屋根・屋上 | C | 40 | × 5.1 | = 204 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 外壁 | D | 10 | × 17.2 | = 172 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 内部仕上げ | B | 75 | × 22.4 | = 1,680 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 電気設備 | A | 100 | × 8.0 | = 800 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 機械設備 | C | 40 | × 7.3 | = 292 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | 3,148 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ÷ 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 健全度 52 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部位 | コスト配分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 屋根・屋上 | 5.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 外壁 | 17.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 内部仕上げ | 22.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 電気設備 | 8.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 機械設備 | 7.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修費率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を屋根・屋上、外壁に按分して設定したものである。

出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」

表3-17 構造躯体の健全性の評価及び部位の劣化状況等の評価

：築50年以上 ：築30年以上 A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応する必要がある

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | 構造躯体の健全性 | | | | | | 劣化状況評価 | | | | | | | |
|--------|---------|---------|-----------|---------|------|----|----|----------|------|----------|-----|-------|----|----|--------|---------------------------|-------|----|------|------|------|--------------|--------|
| 通し番号 | 施設名 | 建物名 | 棟番号 | 用途区分 | | 構造 | 階数 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 | | 築年数 | 耐震安全性 | | | 長寿命化判定 | | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 | 健全度 (100点満点) | |
| | | | | 施設類型 | 建物用途 | | | | 西暦 | 和暦 | | 基準 | 診断 | 補強 | 調査年度 | 圧縮強度 (N/mm ²) | | | | | | | 試算上の区分 |
| 1 | 大磯小学校 | 本館 | 24 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 2,434 | 1999 | H11 | 21 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | B | A | B | B | 84 |
| 2 | 大磯小学校 | 南校舎 | 23 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 2,100 | 1999 | H11 | 21 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | B | A | B | B | 86 |
| 3 | 大磯小学校 | 中校舎 | 13 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 2,148 | 1985 | S60 | 35 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | C | C | A | B | B | 71 |
| 4 | 大磯小学校 | 西校舎 | 14 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 510 | 1985 | S60 | 35 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | B | B | B | B | 75 |
| 5 | 大磯小学校 | 給食調理室 | 15-1 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 1 | 245 | 1986 | S61 | 34 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | B | A | B | B | 84 |
| 6 | 大磯小学校 | 体育館 | 11-1 | 学校教育施設 | 体育館 | RC | 2 | 1,261 | 1975 | S50 | 45 | 旧 | 済 | 済 | H23 | 17.7 | 長寿命 | A | A | A | B | B | 94 |
| 7 | 大磯小学校 | 学童 | 11-2 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 2 | 188 | 1975 | S50 | 45 | 旧 | 済 | 済 | H4 | 20.6 | 長寿命 | A | A | C | B | B | 71 |
| 8 | 大磯小学校 | 学童 | 11-3 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 2 | 44 | 2006 | H18 | 14 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | B | B | 94 |
| 9 | 国府小学校 | 南校舎 | 14 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 2,989 | 1991 | H3 | 29 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | C | D | B | B | 41 |
| 10 | 国府小学校 | 北校舎 | 15 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 3,579 | 1991 | H3 | 29 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | C | D | B | B | 41 |
| 11 | 国府小学校 | 校舎 | 16 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 714 | 1991 | H3 | 29 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | B | A | B | B | 84 |
| 12 | 国府小学校 | 体育館 | 17-2 | 学校教育施設 | 体育館 | RC | 2 | 1,437 | 1996 | H8 | 24 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | B | A | B | B | 84 |
| 13 | 国府小学校 | 倉庫 | 17-1、17-3 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 2 | 357 | 1996 | H8 | 24 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | B | B | B | B | 75 |
| 14 | 国府小学校 | プール | 18 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 1 | 208 | 2012 | H24 | 8 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 15 | 国府小学校 | プール | 19 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 1 | 36 | 2012 | H24 | 8 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 16 | 大磯中学校 | 1号館 | 1-1 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 1,062 | 1959 | S34 | 61 | 旧 | 済 | 済 | H16 | 12.3 | 要調査 | B | A | B | B | B | 82 |
| 17 | 大磯中学校 | 2号館 | 2 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 1,476 | 1964 | S39 | 56 | 旧 | 済 | 済 | H16 | 17.6 | 長寿命 | B | A | B | B | B | 82 |
| 18 | 大磯中学校 | 2号館トイレ | 14 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 1 | 36 | 1983 | S58 | 37 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | A | B | B | B | 82 |
| 19 | 大磯中学校 | 3号館 | 12 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 3,180 | 1983 | S58 | 37 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | B | C | B | B | 64 |
| 20 | 大磯中学校 | 昇降口 | 1-2 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 2 | 131 | 1964 | S39 | 56 | 旧 | 済 | 済 | H16 | - | 長寿命 | B | A | B | B | B | 82 |
| 21 | 大磯中学校 | 体育準備室 | 4-1 | 学校教育施設 | 校舎 | S | 1 | 81 | 1966 | S41 | 54 | 旧 | - | - | - | - | 長寿命 | A | B | C | B | B | 64 |
| 22 | 大磯中学校 | 体育準備室 | 4-2 | 学校教育施設 | 校舎 | S | 1 | 8 | 1992 | H4 | 28 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | B | B | B | B | 77 |
| 23 | 大磯中学校 | 体育館 | 7-1 | 学校教育施設 | 体育館 | S | 1 | 1,021 | 1965 | S40 | 55 | 旧 | 済 | 済 | H17 | 29.3 | 長寿命 | A | B | B | B | B | 77 |
| 24 | 大磯中学校 | 体育館トイレ | 7-2 | 学校教育施設 | 体育館 | S | 1 | 81 | 1967 | S42 | 53 | 旧 | - | - | - | - | 長寿命 | A | B | C | B | B | 64 |
| 25 | 大磯中学校 | 部室 | 15-1 | 学校教育施設 | 部室 | RC | 1 | 168 | 1995 | H7 | 25 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | A | B | B | B | 82 |
| 26 | 国府中学校 | A棟 | 1-1 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 2,023 | 1980 | S55 | 40 | 旧 | 済 | 済 | H9 | 25.1 | 長寿命 | A | A | A | C | C | 85 |
| 27 | 国府中学校 | A棟 | 1-2 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 1,135 | 1980 | S55 | 40 | 旧 | 済 | 済 | H9 | 26.2 | 長寿命 | A | A | A | C | C | 85 |
| 28 | 国府中学校 | 廊下 | 1-3 | 学校教育施設 | 校舎 | S | 1 | 43 | 1992 | H4 | 28 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | A | B | C | C | 75 |
| 29 | 国府中学校 | B棟 | 2 | 学校教育施設 | 校舎 | RC | 3 | 2,009 | 1980 | S55 | 40 | 旧 | 済 | 済 | H17 | 19.8 | 長寿命 | A | A | D | C | C | 51 |
| 30 | 国府中学校 | 体育館 | 5 | 学校教育施設 | 体育館 | RC | 2 | 1,525 | 1981 | S56 | 39 | 旧 | 済 | 済 | H26 | 19.8 | 長寿命 | A | A | A | C | C | 85 |
| 31 | 国府中学校 | 部室 | 6 | 学校教育施設 | 部室 | S | 1 | 109 | 1995 | H7 | 25 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | C | B | C | C | 56 |
| 32 | 大磯幼稚園 | 園舎 | 5 | 学校教育施設 | 園舎 | RC | 2 | 1,125 | 1980 | S55 | 40 | 旧 | 済 | - | H17 | 27.2 | 長寿命 | C | D | C | C | C | 31 |
| 33 | たかとり幼稚園 | 園舎 | 1 | 学校教育施設 | 園舎 | RC | 1 | 1,117 | 2009 | H21 | 11 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | B | A | A | A | 93 |
| 34 | たかとり幼稚園 | 園舎 | 2 | 学校教育施設 | 園舎 | RC | 1 | 12 | 2009 | H21 | 11 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | B | A | A | A | 93 |
| 35 | 教育研究所 | 教育研究所 | - | 学校教育施設 | その他 | W | 2 | 238 | 1983 | S58 | 37 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | A | A | B | B | 92 |
| 36 | 国府保育園 | 保育園 | - | 子育て支援施設 | その他 | RC | 2 | 727 | 1984 | S59 | 36 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | C | C | B | B | B | 62 |
| 37 | 生涯学習館 | 生涯学習館 | - | 社会教育施設 | その他 | RC | 2 | 480 | 1974 | S49 | 46 | 旧 | 済 | 済 | H24 | 22.5 | 長寿命 | B | A | B | C | C | 73 |
| 38 | 郷土資料館 | 郷土資料館 | - | 社会教育施設 | その他 | RC | 3 | 1,773 | 1988 | S63 | 32 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | B | A | A | B | B | 92 |
| 39 | 旧吉田茂邸 | 旧吉田茂邸 | - | 社会教育施設 | その他 | W | 2 | 743 | 2016 | H28 | 4 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 40 | 図書館 | 図書館(複合) | - | 社会教育施設 | その他 | RC | 3 | 1,864 | 1983 | S58 | 37 | 新 | - | - | - | - | 長寿命 | C | A | C | B | B | 66 |

第4章 教育施設等整備の基本的な方針等

4-1 教育施設等の整備方針

(1) 学校教育施設

学校教育施設の整備方針について、上位計画である「大磯町公共施設等第1期個別施設計画（平成30年3月）」における対策（方向性）を踏まえるとともに、「第2章 教育施設等の目指すべき姿」を踏まえ、以下のとおりに設定しました。

| 上位計画 | 施設名 | 対策(方向性) |
|--------------------------------|---------|---------|
| 大磯町公共施設等 第1期個別施設計画の 方向性※ | 大磯小学校 | 存続 |
| | 国府小学校 | 存続 |
| | 大磯中学校 | 存続、検討 |
| | 国府中学校 | 存続 |
| | 大磯幼稚園 | 存続 |
| | たかとり幼稚園 | 存続 |



| | |
|-------------------|--|
| 小・中学校の 適正規模・配置 | <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校は、町内にバランスよく配置されていることから、当面は現状の配置を維持します。ただし、将来予測において、人口動態に変化が生じた場合は、適正な規模や配置を検証し、統合を含めた検討を行います。 |
| 学区 | <ul style="list-style-type: none"> 当面は現状における小・中学校の学区を維持します。 |
| 小・中学校の 整備方針 | <p>○災害対策、防犯・事故対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した学校施設等の改修・改築は、施設の状況による緊急度等を考慮し、計画的に実施します。 建築基準法に準じた法定点検を確実に実施するとともに、教職員による日常的な点検を継続し、事故防止に努めます。 学校施設の多岐にわたる法定点検や計画的な修繕の実施に当たり、包括的民間管理委託など施設マネジメントの検討を行います。 災害時に指定避難所となる体育館は、防災担当部署と連携し、空調設備やバリアフリーに配慮した整備を行います。 <p>○感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、空調設備とあわせた換気対策として、網戸の設置を進めます。また、手洗い場所の改修や水周りの漏水状況等に注意を図ります。 |

※教育研究所は「大磯町公共施設等第1期個別施設計画（平成30年3月）」の対象施設に含まれていないため、対策（方向性）は示されていない。

| | | |
|-----------------|--|---|
| 整備方針 | 快適性 | <p>○快適な学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校施設等の改修では、ユニバーサルデザインの視点を持ち、トイレの洋式化やバリアフリーに配慮します。 • 化学物質や電磁波などに過敏な児童・生徒にも配慮した環境づくりを行います。 • 猛暑対策として、特別教室や体育館にエアコンの整備を計画します。整備に当たっては、大規模修繕の時期にあわせて導入するとともに、リース事業などの民間ノウハウの活用も検討します。 |
| | 学習活動への 適応性 | <p>○効果的・効率的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> • 少人数学級の拡充、インクルーシブ教育等のため、空き教室や供用スペースの有効活用を検討します。 • GIGA スクール構想に基づき、1人1台の端末環境が整備されたことにより、机面積の確保が課題となっていることから、新JIS規格に適応した机椅子の整備を推進します。 • 教室にはロッカー、大型提示装置及びタブレット PC 充電保管庫等、ICT関連機器等を設置していますが、35人以下学級編制に向けた整備を検討します。 |
| | 環境への 適応性 | <ul style="list-style-type: none"> • 照明のLED化や屋上の空きスペースを活用した太陽光エネルギー利用等の脱炭素化に向けた取り組みについて、引き続き検討します。検討に当たっては、リース事業等、民間ノウハウの活用も検討します。 |
| | 地域の 拠点化 | <ul style="list-style-type: none"> • 地域施設としての役割を考慮し、災害時に地域住民の広域避難場所や指定避難所となることから、災害に備えた対策について、防災担当部署と連携して検討します。また、避難所施設として、バリアフリーに配慮します。 • 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、コミュニティ・スクールの研究をさらに推進するため、空き教室や供用スペースの有効活用を検討します。 |
| 個別施設に関する 方向性 | <ul style="list-style-type: none"> • 小・中学校は、改築等を行う際には一体的な整備や他施設との複合化・多機能化について検討します。 • 大磯幼稚園は、待機児童対策等のため、2024（令和6）年度に公私連携幼保連携型認定こども園に移行します。 • 教育研究所は、2019（令和元）年度から故横溝千鶴子氏より遺贈された邸宅を活用しており、邸宅の保全に努めるとともに、適応指導教室や教職員の研究・研修を支援、児童・生徒や保護者からの相談を担う教育機関として存続します。 | |

(2) その他教育施設等

子育て支援施設や社会教育施設の整備方針について、上位計画である「大磯町公共施設等第1期個別施設計画（平成30年3月）」における対策（方向性）を踏まえ、以下のとおりに設定しました。

| 上位計画 | 施設類型 | 施設名 | 対策(方向性) |
|-------------------------------|---------|-------|---------|
| 大磯町公共施設等 第1期個別施設計画の 方向性 | 子育て支援施設 | 国府保育園 | 検討 |
| | 社会教育施設 | 生涯学習館 | 集約化 |
| | | 郷土資料館 | 存続 |
| | | 旧吉田茂邸 | 存続 |
| | | 図書館 | 存続 |



| | | |
|------|---------------|--|
| 整備方針 | 安全性 | <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設の改修・改築は、施設の状況による緊急度等を考慮し、計画的に実施します。 建築基準法に準じた法定点検を確実に実施するとともに、職員による日常的な点検を継続し、事故防止に努めます。 生涯学習館及び郷土資料館は、指定緊急避難場所(洪水・地震)に指定されているため、災害に備えた対策について、防災担当部署と連携して検討します。 |
| | 快適性 | <ul style="list-style-type: none"> 保育園は乳幼児を預かる要配慮者利用施設であることから、改修や改築の際には、入所児童の多様な行動や動線に配慮した設計とし、機能性と安全性を兼ね備えた建材や設備仕様等を検討します。 社会教育施設は、あらゆる年代が利用する施設であることから、施設の安全や安心を確保するため、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を検討するとともに、計画的に施設の整備・充実を図ることで、快適に過ごせる場の提供に努めます。 |
| | 学習活動への 適応性 | <ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設は、学習拠点として、学習情報の提供のためのシステムづくりとネットワーク化を図ります。 学習ニーズが多様化していることから、様々な学習活動に対応できる施設整備を検討します。 |
| | 環境への 適応性 | <ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設は、地域の身近な公共施設であり、施設規模も大きいことから、地球温暖化や循環型社会について取り組むことが重要です。改修・改築の際には、省エネルギー化や省資源化を推進し、環境負荷の低減に配慮した社会教育施設を目指します。 |
| | 地域活性化の 拠点 | <ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設は、地域活性化の拠点としての役割が期待されることから、より多くの町民が学び交わせる場となるよう、施設設備を充実させ利便性の向上に努めます。 |

| | | |
|-------------|-------|---|
| 個別施設に関する方向性 | 国府保育園 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでいるため、待機児童数や保育の量の見込みを検証し、施設の在り方について継続して検討します。 |
| | 生涯学習館 | <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県が整備し、築46年が経過しています。2006(平成18)年から土地・建物の所有が町となり、2014(平成26)年度に耐震補強及びトイレ改修工事を実施していることから、施設の貸出しを行う同様な施設との集約化について検討します。 |
| | 郷土資料館 | <ul style="list-style-type: none"> 郷土の自然と文化、歴史を啓発することを目的に博物館施設として設置しました。他施設での運用や施設の用途変更は難しいことから、存続します。 |
| | 旧吉田茂邸 | <ul style="list-style-type: none"> 2017(平成29)年度に郷土資料館別館である体験学習施設として開館しました。本施設は、吉田茂が暮らした当時の邸宅を復元したものであることから、歴史的資産としての維持管理を行います。 運営については、指定管理者制度の活用を含めて検討します。 |
| | 図書館 | <ul style="list-style-type: none"> 他施設において、図書館資料の保存及び提供を継続することは難しいことから、存続します。 |

(3) 改修等の整備水準

教育施設等における改修等の整備水準について、施設の劣化状況に応じた整備内容を検討できるように、表4-1に示す構造躯体及び各部位に関する改修等の方向性を定めました。

なお、整備に当たっては、本町の財政状況や教育施設等の劣化状況等を踏まえ、具体的な整備内容を決定します。

表4-1 構造躯体及び各部位に関する改修等の方向性

| | |
|----------------------|---|
| <p>構造躯体</p> | <p>○躯体の状況に応じた適切な補強・補修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> アルカリ性であるコンクリートが外部環境の影響を受けてアルカリ性を失う中性化の現象や鉄骨の腐食等が進むと、コンクリートの剥落等が生じる可能性が高くなることから、耐震性に問題がなくても建物を長持ちさせることができません。 そこで、中性化対策や鉄骨の補強などをはじめとする躯体の延命化対策の実施を検討し、適切な補強・補修を行います。 |
| <p>屋根・屋上</p> | <p>○耐久性の高い材料を使用した全面的な防水改修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根・屋上の劣化が進むと、建物内部へ雨漏りが発生するとともに、構造躯体の耐久性に影響を及ぼします。 そこで、耐久性や断熱性、防水機能の高い材料を使用し、全面的な防水機能の再生を目標とします。 劣化状況が軽微なものは、塗装を塗り替えて再使用します。 |
| <p>外壁</p> | <p>○耐久性の高い材料を使用した全面的な塗り直しを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 外壁の劣化が進むと、外壁の一部が欠けて落下し、園児及び児童・生徒などに危害を加えるおそれがあります。 そこで、クラックや欠損などを確認した場合は適切な補修を行い、外壁仕上げは、樹脂製で耐久性の高い材料を使用し、全面的な塗り直しを目標とします。 断熱改修を行う場合は、室外温度の影響を受けにくい断熱材を選定します。 |
| <p>内部仕上げ</p> | <p>○床・壁・天井の全面的な張り替えを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部仕上げの劣化が進むと、継ぎ目が目立つようになり、浮きや剥がれ、カビなどが生じ、内部仕上げの機能である調湿、防火、衛生面等に影響を及ぼします。 そこで、床・壁・天井の補修や全面的な張り替えを実施し、室内の機能性や快適性の向上を図ります。 劣化状況が軽微なものは、部分補修等により再使用します。 |
| <p>電気設備 機械設備</p> | <p>○物理的耐用年数を経過した設備機器は更新を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備機器に不具合が生じると、施設機能が発揮できずに快適性の低下につながります。 そこで、日常から作動状況を確認し、適切な維持保全を行うとともに、物理的耐用年数を経過したものは更新することを目標とします。 二酸化炭素排出量の削減やランニングコストの低減に配慮した省エネルギー効果の高い機器を選定するとともに、使用する機器の種別は最小限とし、維持管理が容易なものとし、 照明機器はLED照明とし、消費電力の低減を図ります。 |

4-2 改修等の基本的な方針

4-2-1 長寿命化の方針

総合管理計画における施設類型ごとの管理に関する基本的な方針では、長寿命化の取組として、今後も必要とされる施設については、「予防保全型の維持管理」を徹底し効果的かつ計画的な保全措置を講じながら、ライフサイクル費用の縮減を視野に入れた長寿命化を推進する方針を定めています。

そこで、本計画における長寿命化の方針は、従前の事後保全型から予防保全型の維持管理を推進するとともに、老朽化の状況を継続的に把握しながら、適切な対応を計画的に実施することで、教育施設等を健全な状態に保ちながら、可能な限り長く使用することとします。

なお、対象施設は、管理を効率的に行えるよう、改修や改築を一体的に実施することが想定される棟をまとめてひとつの建物とし、表4-2のとおり整理しました。

表4-2 管理上の区分

| 施設名 | 建物基本情報 | | | | | 管理上の区分 | | | | | |
|-------------|--------|---------|-----------|-------------|----------|--------|----|-----------------|----------|-------|------|
| | 建物名 | 棟番号 | 構造 | 延床面積 (㎡) | 建築 年度 | 建物名 | 構造 | 延床面積 (㎡) | 建築 年度 | | |
| 大磯小学校 | 1 | 本館 | 24 | RC | 2,434 | 1999 | 1 | 本館 | RC | 2,434 | 1999 |
| | 2 | 南校舎 | 23 | RC | 2,100 | 1999 | 2 | 南校舎 | RC | 2,100 | 1999 |
| | 3 | 中校舎 | 13 | RC | 2,148 | 1985 | 3 | 中校舎 | RC | 2,148 | 1985 |
| | 4 | 西校舎 | 14 | RC | 510 | 1985 | 4 | 西校舎 | RC | 510 | 1985 |
| | 5 | 給食室 | 15-1 | RC | 245 | 1986 | 5 | 給食調理室 | RC | 245 | 1986 |
| | 6 | 体育館 | 11-1 | RC | 1,261 | 1975 | 6 | 体育館・学童 | RC | 1,493 | 1975 |
| | 7 | 学童 | 11-2 | RC | 188 | 1975 | | | | | |
| | 8 | 学童 | 11-3 | RC | 44 | 2006 | | | | | |
| 国府小学校 | 9 | 南校舎 | 14 | RC | 2,989 | 1991 | 7 | 南校舎・校舎 | RC | 3,703 | 1991 |
| | 10 | 校舎 | 16 | RC | 714 | 1991 | 8 | 北校舎 | RC | 3,579 | 1991 |
| | 11 | 北校舎 | 15 | RC | 3,579 | 1991 | 9 | 体育館・倉庫 | RC | 1,794 | 1996 |
| | 12 | 体育館 | 17-2 | RC | 1,437 | 1996 | 10 | プール | RC | 244 | 2012 |
| | 13 | 倉庫 | 17-1、17-3 | RC | 357 | 1996 | | | | | |
| | 14 | プール | 18 | RC | 208 | 2012 | | | | | |
| 15 | プール | 19 | RC | 36 | 2012 | | | | | | |
| 大磯中学校 | 16 | 1号館 | 1-1 | RC | 1,062 | 1959 | 11 | 1号館・昇降口 | RC | 1,193 | 1959 |
| | 17 | 昇降口 | 1-2 | RC | 131 | 1964 | 12 | 2号館 | RC | 1,512 | 1964 |
| | 18 | 2号館 | 2 | RC | 1,476 | 1964 | 13 | 3号館 | RC | 3,180 | 1983 |
| | 19 | 2号館トイレ | 14 | RC | 36 | 1983 | 14 | 体育館・準備室 ・トイレ | S | 1,191 | 1965 |
| | 20 | 3号館 | 12 | RC | 3,180 | 1983 | | | | | |
| | 21 | 体育準備室 | 4-1 | S | 81 | 1966 | | | | | |
| | 22 | 体育準備室 | 4-2 | S | 8 | 1992 | | | | | |
| | 23 | 体育館 | 7-1 | S | 1,021 | 1965 | | | | | |
| 24 | 体育館トイレ | 7-2 | S | 81 | 1967 | | | | | | |
| 国府中学校 | 25 | A棟 | 1-1 | RC | 2,023 | 1980 | 15 | A棟・廊下 | RC | 3,201 | 1980 |
| | 26 | A棟 | 1-2 | RC | 1,135 | 1980 | 16 | B棟 | RC | 2,009 | 1980 |
| | 27 | 廊下 | 1-3 | S | 43 | 1992 | 17 | 体育館 | RC | 1,525 | 1981 |
| | 28 | B棟 | 2 | RC | 2,009 | 1980 | | | | | |
| | 29 | 体育館 | 5 | RC | 1,525 | 1981 | | | | | |
| 大磯幼稚園 | 30 | 園舎 | 5 | RC | 1,125 | 1980 | 18 | 園舎 | RC | 1,125 | 1980 |
| たかとり 幼稚園 | 31 | 園舎 | 1 | RC | 1,117 | 2009 | 19 | 園舎 | RC | 1,129 | 2009 |
| | 32 | 園舎 | 2 | RC | 12 | 2009 | | | | | |
| 教育研究所 | 33 | 教育研究所 | - | W | 238 | 1983 | 20 | 教育研究所 | W | 238 | 1983 |
| 国府保育園 | 34 | 保育園 | - | RC | 727 | 1984 | 21 | 保育園 | RC | 727 | 1984 |
| 生涯学習館 | 35 | 生涯学習館 | - | RC | 480 | 1974 | 22 | 生涯学習館 | RC | 480 | 1974 |
| 郷土資料館 | 36 | 郷土資料館 | - | RC | 1,773 | 1988 | 23 | 郷土資料館 | RC | 1,773 | 1988 |
| 旧吉田茂邸 | 37 | 旧吉田茂邸 | - | W | 743 | 2016 | 24 | 旧吉田茂邸 | W | 743 | 2016 |
| 図書館 | 38 | 図書館(複合) | - | RC | 1,864 | 1983 | 25 | 図書館(複合) | RC | 1,864 | 1983 |

※大磯中学校部室(棟番号15-1)及び国府中学校部室(棟番号6)は延床面積200㎡未満の小規模建築物のため対象から除く。

4-2-2 長寿命化施設の選定

建物の長寿命化に当たっては、建物の水準を適切に維持し、長時間の使用を継続することに適した建物を選定することが重要です。

そこで、「3-2 構造躯体の健全性の評価及び部位の劣化状況等の評価」や「4-1 教育施設等の整備方針」の方向性を踏まえ、本計画における長寿命化施設は、図4-1に示す条件を満たす施設としました。詳細は表4-3に示すとおりであり、長寿命化施設は20棟（8施設）、一般施設は5棟（5施設）です。

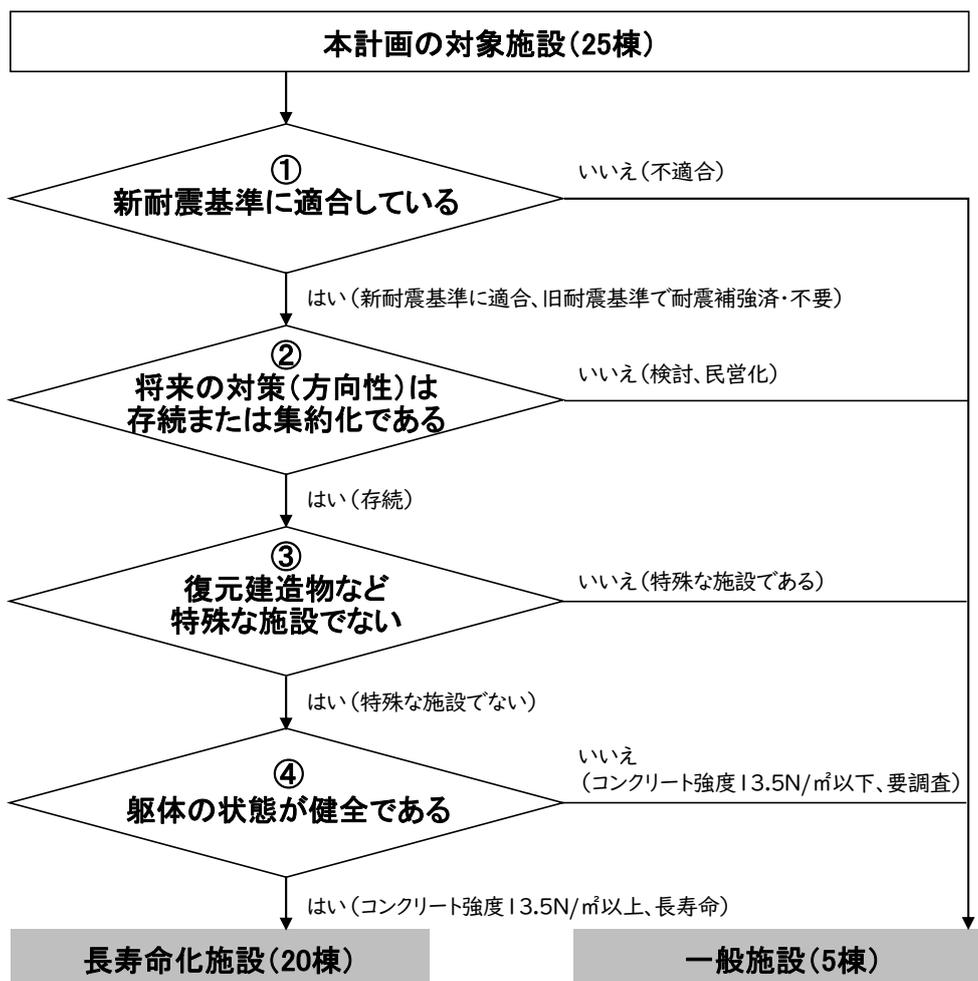


図4-1 長寿命化施設の選定方法

表4-3 長寿命化施設の選定

| 施設類型 | 施設名 | 建物名 | 構造 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 | 施設 区分※ |
|---------|-----------|----------------|----|-------------|------|-----------|
| 学校教育施設 | 1 大磯小学校 | 1 本館 | RC | 2,434 | 1999 | 長寿命 |
| | | 2 南校舎 | RC | 2,100 | 1999 | 長寿命 |
| | | 3 中校舎 | RC | 2,148 | 1985 | 長寿命 |
| | | 4 西校舎 | RC | 510 | 1985 | 長寿命 |
| | | 5 給食調理室 | RC | 245 | 1986 | 長寿命 |
| | | 6 体育館・学童 | RC | 1,493 | 1975 | 長寿命 |
| | 2 国府小学校 | 7 南校舎・校舎 | RC | 3,703 | 1991 | 長寿命 |
| | | 8 北校舎 | RC | 3,579 | 1991 | 長寿命 |
| | | 9 体育館・倉庫 | RC | 1,794 | 1996 | 長寿命 |
| | | 10 プール | RC | 244 | 2012 | 長寿命 |
| | 3 大磯中学校 | 11 1号館・昇降口 | RC | 1,193 | 1959 | 一般(④) |
| | | 12 2号館 | RC | 1,512 | 1964 | 長寿命 |
| | | 13 3号館 | RC | 3,180 | 1983 | 長寿命 |
| | | 14 体育館・準備室・トイレ | S | 1,191 | 1965 | 長寿命 |
| | 4 国府中学校 | 15 A棟・廊下 | RC | 3,201 | 1980 | 長寿命 |
| | | 16 B棟 | RC | 2,009 | 1980 | 長寿命 |
| | | 17 体育館 | RC | 1,525 | 1981 | 長寿命 |
| | 5 大磯幼稚園 | 18 園舎 | RC | 1,125 | 1980 | 一般(②) |
| | 6 たかとり幼稚園 | 19 園舎 | RC | 1,129 | 2009 | 長寿命 |
| | 7 教育研究所 | 20 教育研究所 | W | 238 | 1983 | 一般(③) |
| 子育て支援施設 | 8 国府保育園 | 21 保育園 | RC | 727 | 1984 | 一般(②) |
| 社会教育施設 | 9 生涯学習館 | 22 生涯学習館 | RC | 480 | 1974 | 長寿命 |
| | 10 郷土資料館 | 23 郷土資料館 | RC | 1,773 | 1988 | 長寿命 |
| | 11 旧吉田茂邸 | 24 旧吉田茂邸 | W | 743 | 2016 | 一般(③) |
| | 12 図書館 | 25 図書館(複合) | RC | 1,864 | 1983 | 長寿命 |

※括弧の番号は図4-1における「①新耐震基準に適合している」「②将来の対策(方向性)は存続または集約化である」「③復元建造物など特殊な施設でない」「④躯体の状態が健全である」でいいえを選択した分岐を示す。

4-2-3 試算条件の考え方

(1) 試算期間の設定

試算期間は、本計画の計画期間にあわせて 2021（令和 3）年度から 2046（令和 28）年度までの 26 年間としました。

(2) 目標使用年数の設定

目標使用年数は、一般社団法人日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方（昭和 63 年 10 月）」における目標耐用年数の代表値や範囲を参考に設定しました。

表 4-4 に示すとおり、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の目標耐用年数（代表値）は、60 年、木造は 40 年とされていますが、計画的な予防保全を実施することで、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造は最長 80 年まで、木造は最長 50 年まで長持ちするとされています。

そこで、本計画における目標使用年数について、長寿命化施設は 80 年（木造は 50 年）、一般施設は 60 年（木造は 40 年）に設定しました。

表 4-4 目標使用年数の設定

| 構造種別 | 目標耐用年数 | | 目標使用年数 | |
|---------------------------|--------|---------|--------|------|
| | 代表値 | 範囲 | 長寿命化施設 | 一般施設 |
| 鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄骨造 (S) | 60 年 | 50~80 年 | 80 年 | 60 年 |
| 木造 (W) | 40 年 | 30~50 年 | 50 年 | 40 年 |

出典：一般社団法人日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方（昭和 63 年 10 月）」

(3) 改修・改築周期の設定

「(2) 目標使用年数の設定」を踏まえ、構造種別ごとに計画的な予防保全の周期を設定しました。また、教育施設等は、経年により老朽化し、求められる機能は時代とともに変化していることから、老朽化した教育施設等を将来にわたって長く使い続けるためには、改修時において、単に物理的な不具合を直すだけでなく、建物の機能や性能を求められている水準まで引き上げることが重要です。

そこで、本計画における改修・改築周期は、表 4-5 に示すとおりとし、長寿命化施設は、建築年度を基準に大規模修繕や長寿命化改修を 20 年周期で実施することで、目標使用年数の 80 年まで確保します。同様に一般施設は、建築年度を基準に大規模修繕を 20 年周期で実施することで、目標使用年数の 60 年まで確保します。

表 4-5 改修・改築周期

| 区分 | 構造種別 | 大規模修繕 (1 回目) | 長寿命化改修 | 大規模修繕 (2 回目) | 改築 |
|------------|---------------------------|-----------------|--------|-----------------|------|
| 長寿命化 施設 | 鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄骨造 (S) | 20 年 | 40 年 | 60 年 | 80 年 |
| | 木造 (W) | - | 25 年 | - | 50 年 |
| 一般施設 | 鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄骨造 (S) | 20 年 | - | 40 年 | 60 年 |
| | 木造 (W) | 20 年 | - | - | 40 年 |

大規模修繕と長寿命化改修の違いは、図4-2に示すとおりです。

大規模修繕は、経年による機能や性能の劣化を回復させる原状回復を目的としますが、長寿命化改修は、建物をいったん構造躯体のみの状態にした上で、耐久性を向上させるための改修、設備や仕上げを更新するなど、経年による機能や性能の劣化を回復させるだけでなく、求められている水準まで向上させることも目的としています。

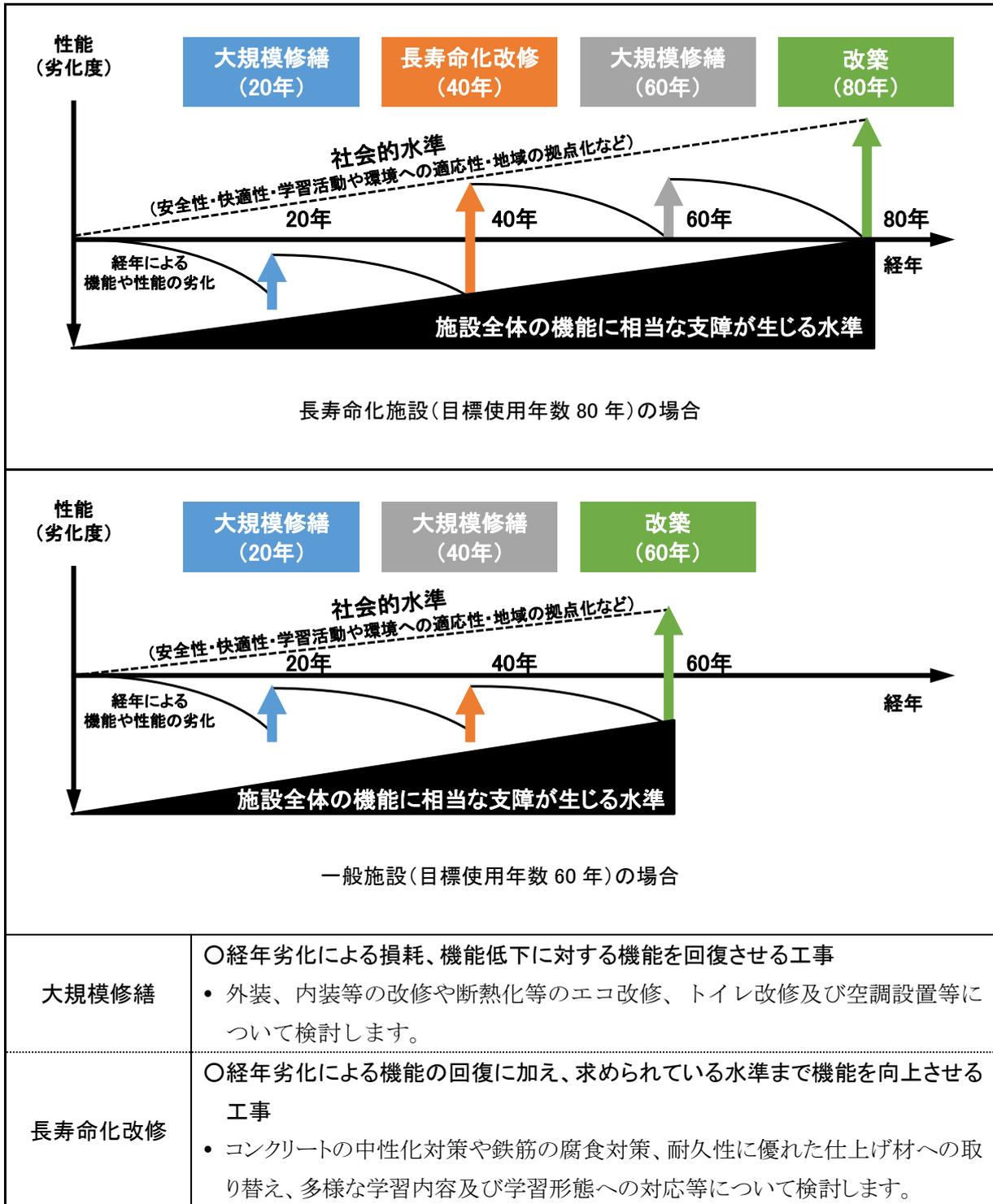


図4-2 大規模修繕と長寿命化改修の種類と周期

(4) 費用の設定

長寿命化による効果を明らかにするため、従来型として、総合管理計画における建替・改修単価を使用し、本計画における長寿命型と比較する方法としました。

また、総合管理計画では、公共建築物の削減数値目標として、改築時に延床面積を15%削減するとしていることから、試算期間において改築に該当する建物は、現状の延床面積から15%削減した上で改築費用を算出しました。

1) 従来型

総合管理計画では、自治総合センターの「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書（平成23年3月）」における設定値を適用し、築30年目に大規模改修、築60年目に建替（改築）すると設定しています。

本計画では、価格変動を考慮し、国土交通省の「建設工事のデフレーター（平成23年度基準）」を参考に現状の実質額に変換し、表4-6に示す費用を従来型の単価として設定しました。

表4-6 総合管理計画において示された大規模改修・更新単価

| 施設類型 | 総合管理計画 | | 実質額に変換(2019年度) | |
|---------|---------|---------|----------------|---------|
| | 大規模改修 | 建替(改築) | 大規模改修 | 建替(改築) |
| | 円/㎡ | 円/㎡ | 円/㎡ | 円/㎡ |
| 学校教育施設 | 270,100 | 330,000 | 291,500 | 372,900 |
| 子育て支援施設 | 270,100 | 330,000 | 291,500 | 372,900 |
| 社会教育施設 | 270,100 | 400,000 | 291,500 | 452,000 |

※2011年度基準を100とした場合、2019年度（暫定）の価格指数は「113」であるため、単価に価格指数を乗じ十の位を切り捨てた値とした。

出典：大磯町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）
国土交通省「建設工事のデフレーター（平成23年度基準）」

2) 長寿命型

本計画における長寿命型の費用について、一般財団法人建築保全センターの「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト第 2 版（平成 31 年 2 月）」を参考に、表 4-7 に示す単価を設定しました。この参考図書では、従来型の施設類型ごとに単価を設定する方法とは異なり、「学校（校舎）」などのモデル建物ごとに建設コストや修繕等コストの考え方が示されていることから、モデル建物ごとに大規模修繕、長寿命化改修、改築及び解体の単価を設定しました。対象施設のモデル建物は表 4-8 のとおりです。

プールの単価については、2012（平成 24）年に施工した国府小学校のプール新設費を基準とし、単価を設定しました。

表 4-7 長寿命型の大規模修繕・長寿命化改修・改築単価

| モデル建物 | 修繕・改修費用 | | 改築 | (参考) 解体 |
|---------|---------|---------|---------|------------|
| | 大規模修繕 | 長寿命化改修 | | |
| | 円/㎡ | 円/㎡ | 円/㎡ | 円/㎡ |
| 校舎 | 111,000 | 191,200 | 318,800 | 32,300 |
| 体育館 | 76,000 | 217,700 | 362,900 | 44,800 |
| プール | 111,600 | 319,800 | 533,100 | 65,800 |
| 小規模事務庁舎 | 159,000 | 267,500 | 445,900 | 41,400 |
| 中規模事務庁舎 | 152,600 | 245,600 | 409,400 | 33,800 |

※費用には消費税は含まれていない。

参考：一般財団法人建築保全センター「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト第 2 版」
大磯町学校教育課資料

表4-8 対象施設のモデル建物

| 施設類型 | 施設名 | 建物名 | 構造 | 延床面積 (㎡) | 建築年度 | モデル建物 |
|---------|----------|----------------|-------|-------------|---------|---------|
| 学校教育施設 | 大磯小学校 | 1 本館 | RC | 2,434 | 1999 | 校舎 |
| | | 2 南校舎 | RC | 2,100 | 1999 | 校舎 |
| | | 3 中校舎 | RC | 2,148 | 1985 | 校舎 |
| | | 4 西校舎 | RC | 510 | 1985 | 校舎 |
| | | 5 給食調理室 | RC | 245 | 1986 | 校舎 |
| | | 6 体育館・学童 | RC | 1,493 | 1975 | 体育館 |
| | 国府小学校 | 7 南校舎・校舎 | RC | 3,703 | 1991 | 校舎 |
| | | 8 北校舎 | RC | 3,579 | 1991 | 校舎 |
| | | 9 体育館・倉庫 | RC | 1,794 | 1996 | 体育館 |
| | | 10 プール | RC | 244 | 2012 | プール |
| | 大磯中学校 | 11 1号館・昇降口 | RC | 1,193 | 1959 | 校舎 |
| | | 12 2号館 | RC | 1,512 | 1964 | 校舎 |
| | | 13 3号館 | RC | 3,180 | 1983 | 校舎 |
| | | 14 体育館・準備室・トイレ | S | 1,191 | 1965 | 体育館 |
| | 国府中学校 | 15 A棟・廊下 | RC | 3,201 | 1980 | 校舎 |
| | | 16 B棟 | RC | 2,009 | 1980 | 校舎 |
| | | 17 体育館 | RC | 1,525 | 1981 | 体育館 |
| 大磯幼稚園 | 18 園舎 | RC | 1,125 | 1980 | 小規模事務庁舎 | |
| たかとり幼稚園 | 19 園舎 | RC | 1,129 | 2009 | 小規模事務庁舎 | |
| 教育研究所 | 20 教育研究所 | W | 238 | 1983 | 小規模事務庁舎 | |
| 子育て支援施設 | 国府保育園 | 21 保育園 | RC | 727 | 1984 | 小規模事務庁舎 |
| 社会教育施設 | 生涯学習館 | 22 生涯学習館 | RC | 480 | 1974 | 小規模事務庁舎 |
| | 郷土資料館 | 23 郷土資料館 | RC | 1,773 | 1988 | 中規模事務庁舎 |
| | 旧吉田茂邸 | 24 旧吉田茂邸 | W | 743 | 2016 | 小規模事務庁舎 |
| | 図書館 | 25 図書館(複合) | RC | 1,864 | 1983 | 中規模事務庁舎 |

4-2-4 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

長寿命化のコストの見通しとその効果について、図4-3に示します。

計画期間である2021（令和3）年度から2046（令和28）年度までの26年間に於ける費用について、従来型で約119.2億円だったものが、長寿命型にすることで約100.9億円となり、約18.3億円（長寿命型（平準化）の場合は約24.4億円）削減する効果が期待されます。

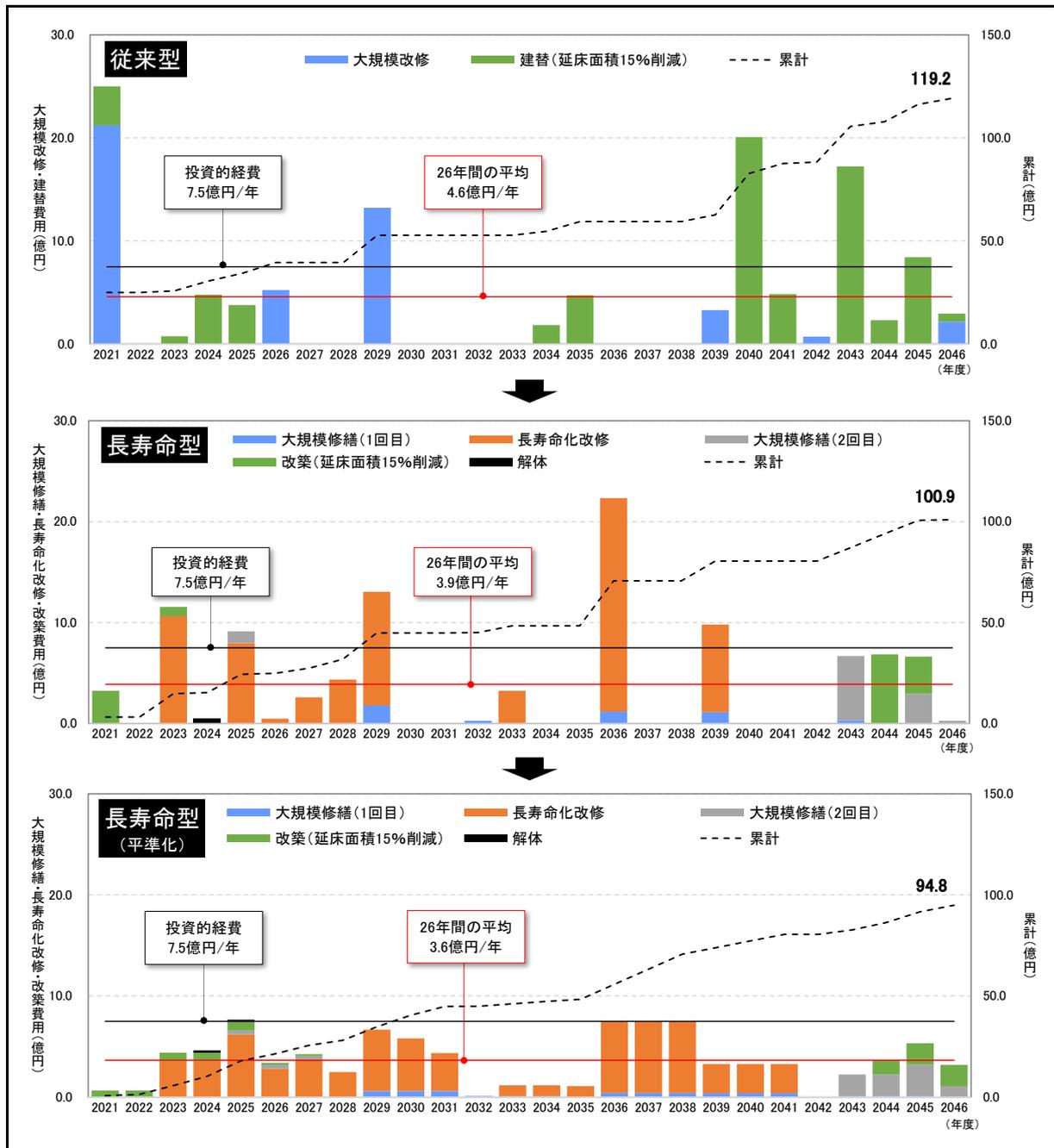


図4-3 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

※長寿命型（平準化）は、工事期間を考慮し、大規模修繕及び長寿命化改修を3年、改築を5年に按分したものである。実施開始年度が2021（令和3）年度以降であるものを対象とし、工事期間を考慮することにより、2046（令和28）年度以降にまで及ぶものは、計画期間である2046（令和28）年度までの費用としたため、累計は長寿命型と一致しない。

第5章 長寿命化の実施計画

5-1 改修等の優先順位

(1) 優先順位の考え方

総合管理計画によると、公共建築物は1980（昭和55）年度から1983（昭和58）年度に集中して建設されており、教育施設等の改修や改築時期と重なることから、必要となる予算については、教育施設等だけでなく、その他の公共建築物と調整を図りながら確保することになります。

そこで、改修や改築時期を迎える教育施設等に対し、財政負担の平準化が必要な場合において、どの施設を優先的に対策するか判断できるよう、優先順位の方向性を決めました。

(2) 優先順位の方向性

建物の状態や安全性、教育施設等が果たしている役割など、対策するに当たって考慮すべき視点を踏まえ、表5-1に示す優先順位の方向性を決めました。

例えば、財政負担の平準化が必要な年度において、構造躯体の評価が「要調査」と判定された施設と指定避難所に指定されている施設の対策時期が重なる場合は、構造躯体の評価が「要調査」と判定された施設を優先して対策します。

表5-1 優先順位の方向性

| | |
|-----------|---|
| 優先順位 1 | ○構造躯体の健全性を確保 ・ 構造躯体の評価において「要調査」と判定された施設の対策を優先する。 |
| 優先順位 2 | ○長寿命化を図る上で重要な部位の予防的な改修工事 ・ 安全性を確保するため、「屋根・屋上」「外壁」の評価がC、D判定の施設を優先する。 |
| 優先順位 3 | ○利用者へ与える影響が大きい部位の改修工事 ・ 故障や事故等の発生により、利用者へ与える影響が大きい「電気設備」「機械設備」の評価がC判定の施設を優先する。 |
| 優先順位 4 | ○非常時における役割 ・ 広域避難場所、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定されている施設を優先する。 |
| 優先順位 5 | ○「存続」する施設 ・ 個別施設計画における対策（方向性）が「存続」である施設を優先する。 |

5-2 実施計画

本計画を円滑に推進するため、図4-3の長寿命型（平準化）をもとに実施計画を作成しました。

実施計画は図5-1に示すとおりであり、計画期間は総合管理計画にあわせて2021（令和3）年度から2026（令和8）年度までを第1期、2027（令和9）年度から2036（令和18）年度までを第2期、2037（令和19）年度から2046（令和28）年度までを第3期としました。なお、具体的な改修内容や実施の優先順位は、詳細診断などを踏まえて合理的な工事範囲を勘案しながら決定します。

また、「1-2 計画の位置付け」のとおり、本計画は、本町の総合的・計画的な町政運営の基本である「大磯町第五次総合計画前期基本計画」や総合管理計画等に基づいて策定したものです。

したがって、教育施設等の改修・改築に当たっては、本町におけるその他の施策や公共建築物の改修・改築等と調整しながら検討することが重要であることから、実施の方向性は「大磯町第五次総合計画実施計画」において示すこととします。

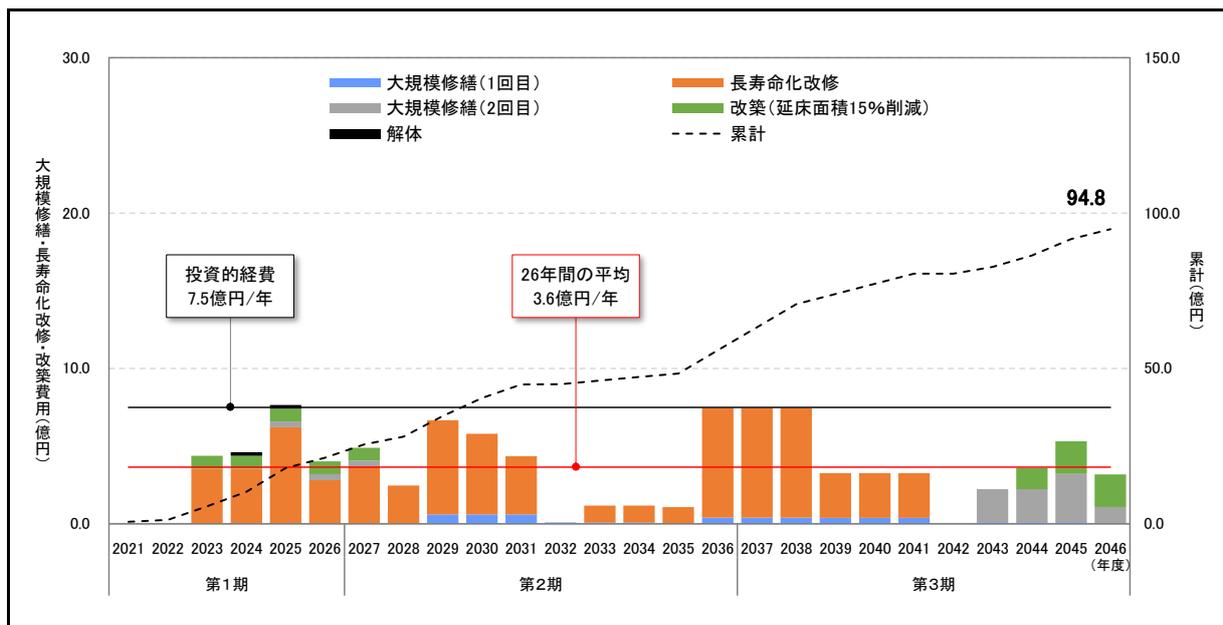


図5-1 実施計画

第6章 長寿命化計画の継続的運用方針

6-1 情報基盤の整備と活用

本計画を推進するに当たっては、教育施設等の状況や改修履歴等をデータとして蓄積し、確実に更新することが重要です。

そこで、「大磯町公共施設再編基本方針（平成28年5月）」において作成した公共施設等のデータベース（施設台帳）を活用しながら、教育施設等の状況や改修履歴等のデータを蓄積し今後の改修内容や時期などを総合的に判断します。

6-2 推進体制

これからも教育施設等の老朽化は進行するとともに、教育環境の変化や利用者ニーズの多様化をはじめ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする社会状況等の変化が予想されます。教育施設等の適切な維持管理を行うために、施設管理者等と連携・協力しながら、教育施設等の劣化状況等の把握に努めます。

長寿命化に向けた改修・改築等の実施に当たっては、公共施設再編問題等検討会議や総合管理計画の担当課による全庁的な基準・方針等を踏まえながら、本計画の所管課が中心となって本計画に基づく教育施設等のマネジメントの実施を目指します。

6-3 フォローアップ

効率的かつ効果的な施設整備を推進するためには、PDCAによるマネジメントサイクルを確立することが重要です。

本計画では、標準的な費用の見込みを示していることから、今後の劣化状況や教育環境の変化等を踏まえながら、実施時期や個別の事業費等について精査するとともに、利用者である町民への理解促進を図りながら、取組を推進します。

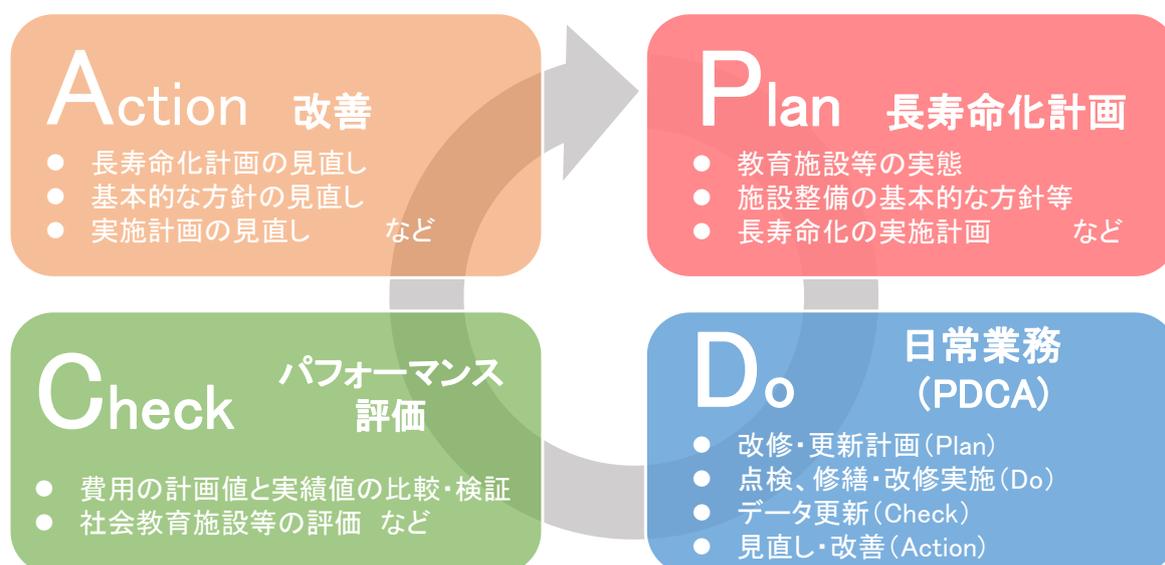


図6-1 PDCA マネジメントサイクルのイメージ

大磯町教育施設等長寿命化計画

令和3年6月

大磯町教育委員会教育部学校教育課・生涯学習課

大磯町町民福祉部子育て支援課

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯 183

電話番号:0463-61-4100(代表)